

ハードウェア ガイド
HPノートブック シリーズ

製品番号：355386-291

2003年11月

このガイドでは、外付けデバイスのコネクタを含む、ノートブック コンピュータのハードウェア機能を確認および使用する方法について説明します。また、コンピュータを持ち運ぶ際に役立つ電力および環境要件についても説明します。

以下の記号は、本文中で安全上重要な注意事項を示します。



警告：その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こす恐れがあるという警告事項を表します。



注意：その指示に従わないと、装置の損傷やデータの損失を引き起こす恐れがあるという注意事項を表します。

ハードウェア ガイド
HPノートブック シリーズ
初版 2003年11月
参照番号：zx5000/zv5000/nx9100/nx9105/nx9110
製品番号：355386-291

日本ヒューレット・パッカード株式会社

目次

3 バッテリ パック

4 ドライブ

5 オーディオとビデオ

6 外付けデバイスの接続

7 モデムとネットワーク接続

8 ハードウェアのアップグレード

9 仕様

索引

1

ハードウェアの各部

ノートブック コンピュータの各部

ノートブック コンピュータに付属のコンポーネントは、地域やモデルによって異なります。このガイドには、異なるモデルや機能の図が含まれています。各セクションで、お使いのコンピュータに外観の近い図を参照してください。

第1章の図は、ほとんどのコンピュータ モデルの標準的な外観を示しています。

ディスプレイ

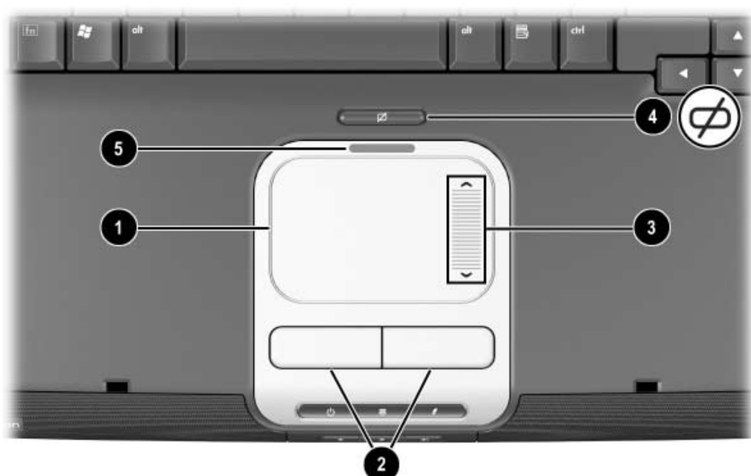


名称	機能
ディスプレイ リリース ラッチ	ノートブック コンピュータを開けるときにスライドさせます



名称	機能
ディスプレイ リリース ラッチ	ノートブック コンピュータを開けるときに押します

タッチパッド



名称		機能
❶	タッチパッド*	ポインタを移動したり、画面上のアイテムを選択または実行したりします
❷	左右のタッチパッド ボタン	外付けマウスの左右のボタンと同様に機能します
❸	タッチパッドのスクロール パッド	外付けマウスのホイールと同様に、画面を上下にスクロールします
❹	タッチパッド オン/オフ ボタン	タッチパッドをオンまたはオフにします
❺	タッチパッド ランプ	タッチパッドが有効になっているときに点灯します

*タッチパッドの設定については、「第2章 タッチパッドとキーボード」を参照してください。



名称		機能
❶	タッチパッド*	ポインタを移動したり、画面上のアイテムを選択または実行したりします
❷	左右のタッチパッド ボタン	外付けマウスの左右のボタンと同様に機能します
❸	タッチパッド オン/オフ ボタン	タッチパッドをオンまたはオフにします
❹	タッチパッド ランプ	タッチパッドが有効になっているときに点灯します

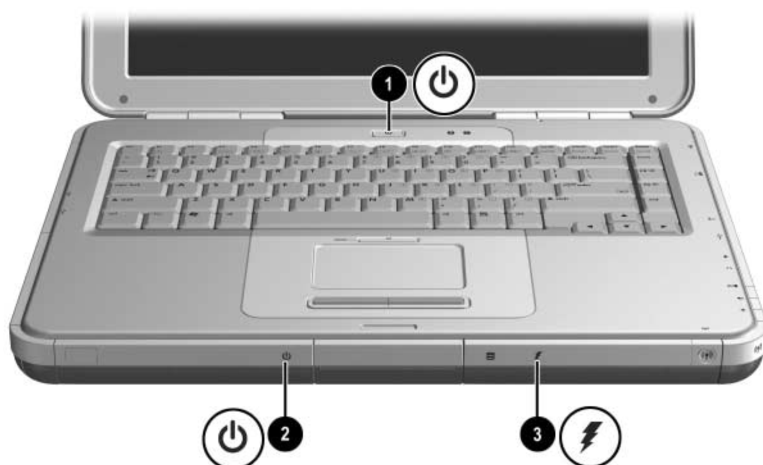
*タッチパッドの設定については、「第2章 タッチパッドとキーボード」を参照してください。

表面の各部

電源ランプ

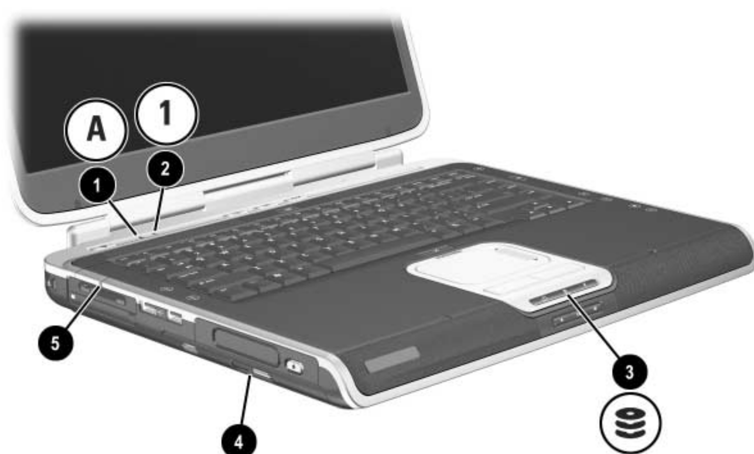


名称		機能
❶	電源ボタン ランプ	ノートブック コンピュータの電源投入時に点灯します ノートブック コンピュータがスタンバイ状態のときに点滅します ノートブック コンピュータの電源が切れているか、ハイバネーション状態のときに消灯します
❷	電源/スタンバイ ランプ	ノートブック コンピュータの電源投入時に点灯します ノートブック コンピュータがスタンバイ状態のときに点滅します ノートブック コンピュータの電源が切れているか、ハイバネーション状態のときに消灯します
❸	バッテリ ランプ	バッテリ パックの充電中に点灯します バッテリ パックが ローバッテリ状態になったときに点滅します バッテリ パックが完全に充電されているか装着されていない状態で外部電力が供給されているとき、または外部電力が供給されていないときに消灯します



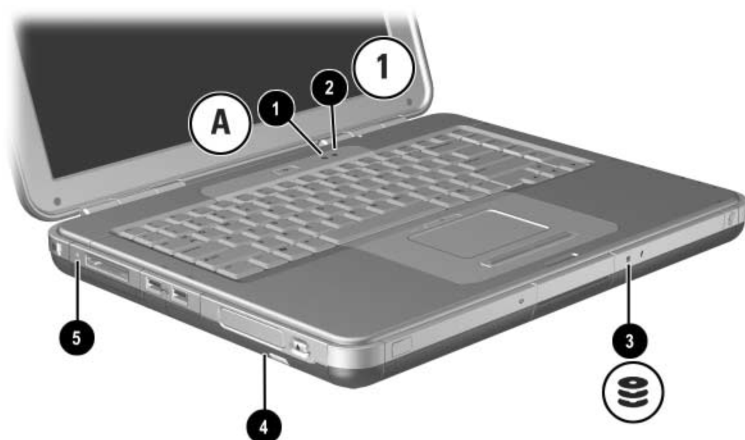
名称		機能
❶	電源ボタン ランプ	ノートブック コンピュータの電源投入時に点灯します ノートブック コンピュータがスタンバイ状態のときに点滅します ノートブック コンピュータの電源が切れているか、ハイバネーション状態のときに消灯します
❷	電源/スタンバイ ランプ	ノートブック コンピュータの電源投入時に点灯します ノートブック コンピュータがスタンバイ状態のときに点滅します ノートブック コンピュータの電源が切れているか、ハイバネーション状態のときに消灯します
❸	バッテリ ランプ	バッテリ パックの充電中に点灯します バッテリ パックが ローバッテリ状態になったときに点滅します バッテリ パックが完全に充電されているか装着されていない状態で外部電力が供給されているとき、または外部電力が供給されていないときに消灯します

キーボードとドライブのランプ



名称		機能
❶	Caps Lockランプ	Caps Lockがオンのときに点灯します
❷	Num Lockランプ	Num Lockまたは内蔵テンキーがオンのときに点灯します*
❸	IDE（Integrated Drive Electronics）ドライブ ランプ(「ハードドライブ/オプティカル ドライブ動作ランプ」とも呼ばれます）	内蔵ハードドライブまたはオプティカル ドライブ ベイにアクセスしているときに点灯します
❹	オプティカル ディスク ドライブ ランプ	オプティカル ドライブ ベイにアクセスしているときに点灯します
❺	5-in-1 デジタル メディア スロット ランプ（一部のモデルのみ）	スロットが別売のデジタル メディア カードにアクセスしているときに点灯します

*Num Lock、内蔵テンキー、または外付けテンキーの使用については、「第2章 タッチパッドとキーボード」を参照してください。



名称		機能
❶	Caps Lockランプ	Caps Lockがオンのときに点灯します
❷	Num Lockランプ	Num Lockまたは内蔵テンキーがオンのときに点灯します*
❸	IDE（Integrated Drive Electronics）ドライブ ランプ（「ハードドライブ/オプティカル ドライブ動作ランプ」とも呼ばれます）	内蔵ハードドライブまたはオプティカル ドライブ ベイにアクセスしているときに点灯します
❹	オプティカル ディスク ドライブ ランプ	オプティカル ドライブ ベイにアクセスしているときに点灯します
❺	5-in-1デジタル メディア スロット ランプ（一部のモデルのみ）	スロットが別売のデジタル メディア カードにアクセスしているときに点灯します

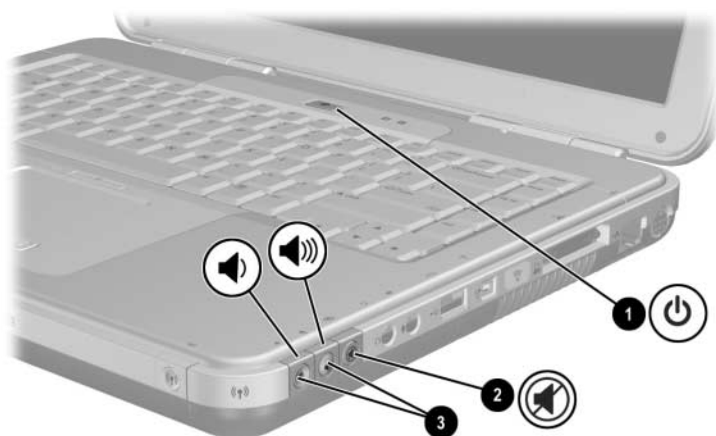
*Num Lock、内蔵テンキー、または外付けテンキーの使用については、「第2章 タッチパッドとキーボード」を参照してください。

電源ボタンと音量ボタン



名称		機能
❶	電源ボタン*	ノートブック コンピュータの状態によって次のように機能します ■ 電源が切れているときにボタンを押すと、電源が入ります ■ 電源が入っているときにボタンを短く押すと、ハイバネーションが起動します ■ スタンバイ状態のときにボタンを短く押すと、スタンバイから復帰します ■ ハイバネーション状態のときにボタンを短く押すと、ハイバネーションから復帰します ✎ システムが応答せず、Windows® の終了を実行できないときは、ボタンを4秒間以上押したままにするとコンピュータの電源が切れます
❷	音量ボタン（×3）	システムの音量を上げたり下げたり、消音したりします ■ 音量を下げる場合は、左のボタンを使用します ■ 消音したり音を元に戻したりする場合は、中央のボタンを使用します 音量を上げる場合は、右のボタンを使用します

*この表ではデフォルト設定について説明しています。電源ボタンの機能を変更する方法については、このCDに収録されている『ソフトウェア ガイド』の「電源」を参照してください。



名称		機能
❶	電源ボタン*	ノートブック コンピュータの状態によって次のように機能します ■ 電源が切れているときにボタンを押すと、電源が入ります ■ 電源が入っているときにボタンを短く押すと、ハイバネーションが起動します ■ スタンバイ状態のときにボタンを短く押すと、スタンバイから復帰します ■ ハイバネーション状態のときにボタンを短く押すと、ハイバネーションから復帰します ✎ システムが応答せず、Microsoft® Windowsの終了を実行できないときは、ボタンを4秒間以上押したままにするとコンピュータの電源が切れます
❷	ミュート ボタン	オーディオが消音されているときに点灯します
❸	音量ボタン（×2）	システムのシステムの音量を上げたり下げたりします ■ 音量を下げる場合は、左のボタンを使用します ■ 音量を上げる場合は、右のボタンを使用します

* この表ではデフォルト設定について説明しています。電源ボタンまたはディスプレイ スイッチの機能を変更する方法については、このCDに収録されている『ソフトウェア ガイド』の「電源」を参照してください。

Quick Launch Buttonsとキーボード キー



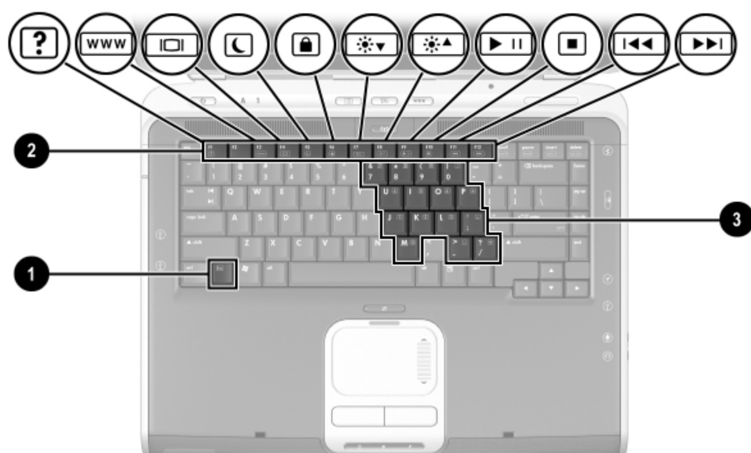
	名称	機能
❶	Quick Launch Buttons（クイック ローンチ ボタン）: Picture、Media、およびInternet	3つのプログラム可能なボタンで、左から順に[マイ ピクチャ]フォルダ、マルチメディア アプリケーション、およびインターネットに1回ボタンを押すだけでアクセスできます 各ボタンのアイコンは、デフォルトのアクセス先を示します。別のアクセス先に再設定することもできます ✎ Quick Launch Buttonsのアクセス先を変更する方法については、「第2章 タッチパッドとキーボード」を参照してください
❷	無線オン/オフ ボタン	無線機能を有効にしますが、無線接続は作成されません ✎ 無線接続をセットアップして確立するには、ハードウェアやソフトウェアを追加する必要がある場合があります
❸	Windowsロゴ キー	Windowsの[スタート]メニューを表示します
❹	Windowsアプリケーション キー	強調表示または選択されているアイテムのショートカット メニューを表示します

無線オン/オフ ボタンとアプリケーション キー



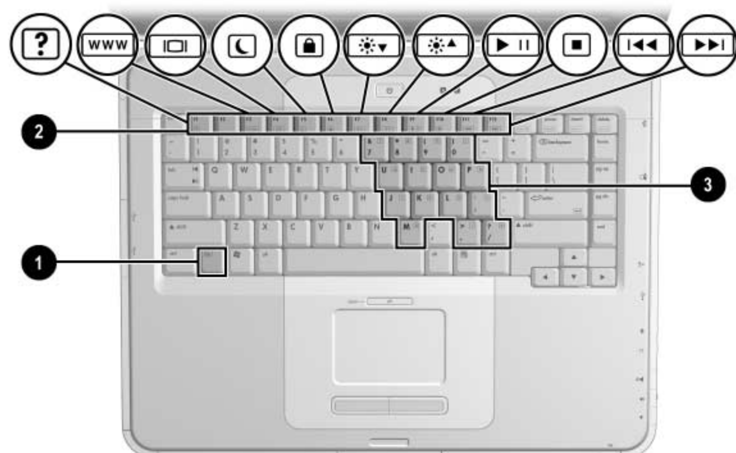
名称		機能
❶	無線オン/オフ ボタン	無線機能を有効にしますが、無線接続は作成されません ✎ 無線接続をセットアップして確立するには、ハードウェアやソフトウェアを追加する必要があります
❷	Windowsロゴ キー	Windowsの[スタート]メニューを表示します
❸	Windowsアプリケーション キー	強調表示または選択されているアイテムのショートカット メニューを表示します

ファンクション キーとテンキー



名称		機能
❶	[Fn]キー	ファンクション キーと組み合わせて、システムおよびアプリケーションのタスクを追加で実行します。たとえば、[Fn]＋[F8]を押すと画面の輝度が上がります
❷	ファンクション キー（×11）*	システムおよびアプリケーションのタスクを実行します。[F1]～[F12]の各ファンクション キーは、[Fn]と組み合わせることによって、ホットキーとして別のタスクも実行できます（[F2]ファンクション キーは使用しません）
❸	テンキー（×15）	外付けのテンキーと同じように使用できます

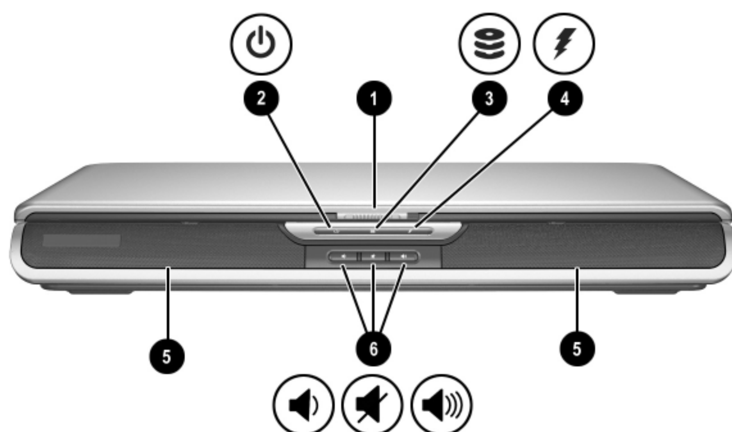
*詳しくは、「第2章 タッチパッドとキーボード」の「ホットキーのクイック リファレンス」を参照してください。



名称		機能
❶	[Fn]キー	ファンクション キーと組み合わせて、システムおよびアプリケーションのタスクを追加で実行します。たとえば、[Fn]＋[F8]を押すと画面の輝度が上がります
❷	ファンクション キー（×11）*	システムおよびアプリケーションのタスクを実行します。[F1]～[F12]の各ファンクション キーは、[Fn]と組み合わせることによって、ホットキーとして別のタスクも実行できます（[F2]ファンクション キーは使用しません）
❸	テンキー（×15）	外付けのテンキーと同じように使用できます

*詳しくは、「第2章 タッチパッドとキーボード」の「ホットキーのクイック リファレンス」を参照してください。

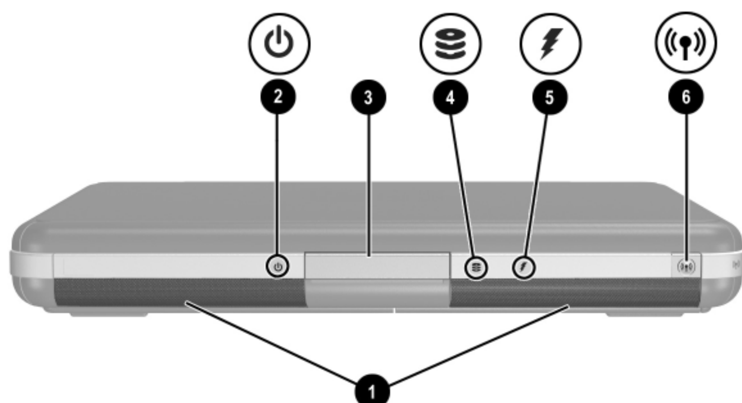
前面の各部



名称		機能
❶	ディスプレイ リリース ラッチ	ノートブック コンピュータを開けるときにスライドさせます
❷	電源/スタンバイ ランプ	ノートブック コンピュータの電源投入時に点灯します ノートブック コンピュータがスタンバイ状態のときに点滅します ノートブック コンピュータの電源が切れているか、ハイバネーション状態のときに消灯します
❸	IDE（Integrated Drive Electronics）ドライブ ランプ(｢ハードドライブ/オプティカル ドライブ動作ランプ｣とも呼ばれます)	内蔵ハードドライブまたはオプティカル ドライブ ベイにアクセスしているときに点灯します

（続く）

❹	バッテリ ランプ	バッテリ パックの充電中に点灯します バッテリ パックが ローバッテリ状態になったときに点滅します バッテリ パックが完全に充電されているか装着されていない状態で外部電力が供給されているとき、または外部電力が供給されていないときに消灯します
❺	ステレオ スピーカ（×2）	ステレオ サウンドを出力します
❻	音量ボタンおよびミュート ボタン（×3）	システムの音量を上げたり下げたり、消音したりします ■ 音量を下げる場合は、左のボタンを使用します ■ 消音したり音を元に戻したりする場合は、中央のボタンを使用します ■ 音量を上げる場合は、右のボタンを使用します

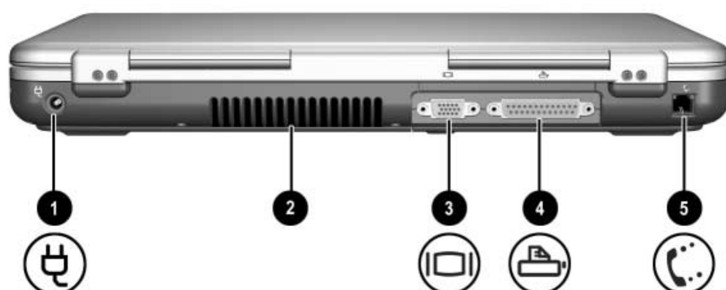


	名称	機能
❶	ステレオ スピーカ（×2）	ステレオ サウンドを出力します
❷	電源/スタンバイ ランプ	ノートブック コンピュータの電源投入時に点灯します ノートブック コンピュータがスタンバイ状態のときに点滅します ノートブック コンピュータの電源が切れているか、ハイバネーション状態のときに消灯します
❸	ディスプレイ リリース ラッチ	ノートブック コンピュータを開けるときにスライドさせます
❹	IDE（Integrated Drive Electronics）ドライブ ランプ(「ハードドライブ/オプティカル ドライブ動作ランプ」とも呼ばれます）	内蔵ハードドライブまたはオプティカル ドライブ ベイにアクセスしているときに点灯します

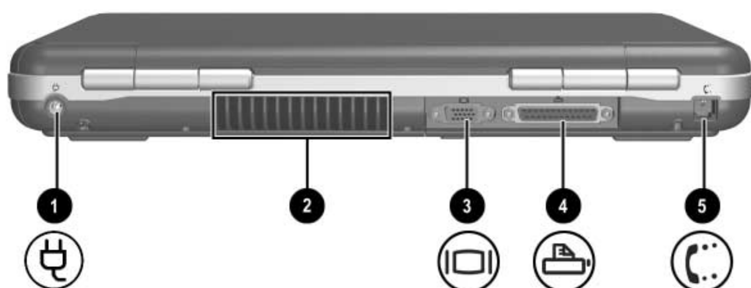
（続く）

❺	バッテリ ランプ	バッテリ パックの充電中に点灯します バッテリ パックが ローバッテリ状態になったときに点滅します バッテリ パックが完全に充電されているか装着されていない状態で外部電力が供給されているとき、または外部電力が供給されていないときに消灯します
❻	無線オン/オフ ボタン	無線機能を有効にしますが、無線接続は作成されません ✎ 無線接続をセットアップして確立するには、ハードウェアやソフトウェアを追加する必要がある場合があります

背面の各部

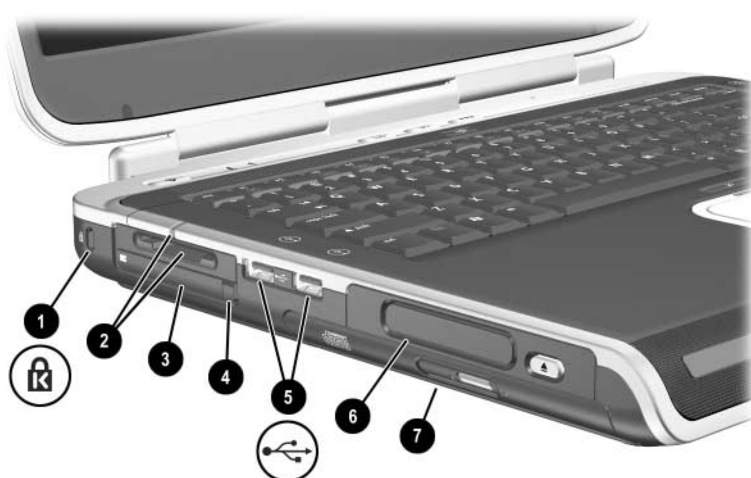


名称		機能
❶	電源コネクタ	ACアダプタを接続します
❷	排気孔	ノートブック コンピュータ内部の温度が上がりすぎないように空気を通します。他の排気孔は、コンピュータの裏面にあります 注意：コンピュータの温度が上がりすぎると、システムが予期しないタイミングで停止する場合があります。通気孔はふさがないように注意してください。隣にプリンタを置いたり、枕や毛布のように柔らかい物の上でコンピュータを使用したりするのは、空気の流れを妨げる原因となりますのでお止めください
❸	外付けモニタ コネクタ	別売の外付けモニタやオーバーヘッド プロジェクタを接続します
❹	パラレル コネクタ	プリンタ用ケーブルなどの別売のパラレル デバイスを接続します
❺	RJ-11コネクタ	モデム ケーブルを接続します



名称		機能
❶	電源コネクタ	ACアダプタを接続します
❷	排気孔	ノートブック コンピュータ内部の温度が上がりすぎないように空気を通します。他の排気孔は、コンピュータの裏面にあります △ 注意：コンピュータの温度が上がりすぎると、システムが予期しないタイミングで停止する場合があります。通気孔はふさがないように注意してください。隣にプリンタを置いたり、枕や毛布のように柔らかい物の上でコンピュータを使用したりするのは、空気の流れを妨げる原因となりますのでお止めください
❸	外付けモニタ コネクタ	別売の外付けモニタやオーバーヘッド プロジェクタを接続します
❹	パラレル コネクタ	プリンタ用ケーブルなどの別売のパラレル デバイスを接続します
❺	RJ-11コネクタ （一部のモデルのみ）	モデム ケーブルを接続します（一部のモデルのみ）

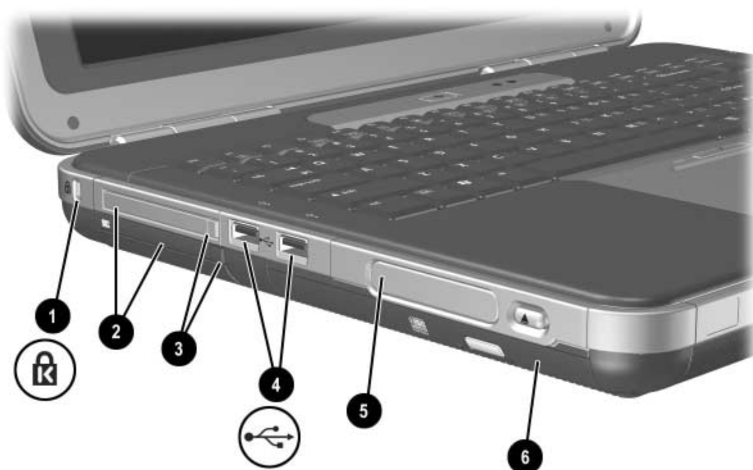
左側面の各部



名称		機能
❶	セキュリティ ロック ケーブル用スロット	別売のセキュリティ ロック ケーブルでノートブック コンピュータを固定物に接続します ✎ セキュリティ機能は、誤った取り扱いに対処することを目的としていますが、ノートブック コンピュータの盗難や誤った取り扱いを完全に防ぐものではありません
❷	5-in-1 デジタル メディア スロットおよびランプ（一部のモデルのみ）	別売の5つのデジタル メディア フォーマット（SD メモリ カード、マルチメディア カード、SmartMedia、メモリ スティック、およびメモリ スティックPRO）を挿入します スロットがデジタル メディアにアクセスしているときに点灯します
❸	PCカード スロット	別売のType I、Type II 32ビット（CardBus）および16ビットのPCカードを挿入します
❹	PCカード イジェクト ボタン	別売のPCカードをPCカード スロットから取り出します

（続く）

❺	USBコネクタ（×2）	プリンタ用ケーブルなどの別売のUSBデバイスを接続します
❻	3種類の構成が可能なドライブ ベイ : オプションのデジタル ベイ、オプションのフロッピーディスク ドライブ、またはドライブなし	デジタル ベイ : ポケットサイズのHP USBデジタル ドライブ（別売）を挿入します フロッピーディスク ドライブ : 標準的な1.4 MBのフロッピーディスクを挿入します ドライブなし : ドライブが取り付けられていません
❼	4種類のオプティカル ドライブ ベイ構成のうち1つ	■ CD-ROMドライブ ■ DVD-ROMドライブ ■ DVD/CD-RWコンボ ドライブ : 記録可能なCDに書き込めますが、記録可能なDVDには書き込めません（ドライブの種類はモデルにより異なります） ■ DVD+RW/RおよびCD-RWコンボ ドライブ : 記録可能なCDおよびDVDの両方に書き込めます

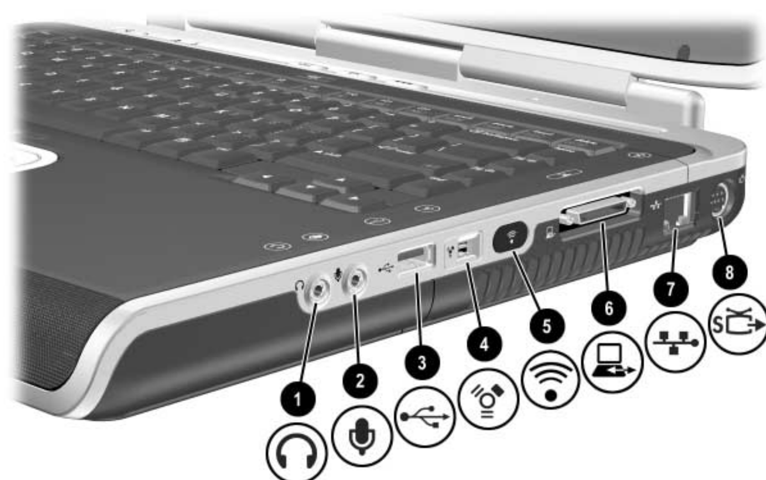


名称		機能
❶	セキュリティ ロック ケーブル用スロット	別売のセキュリティ ロック ケーブルでノートブック コンピュータを固定物に接続します ✎ セキュリティ機能は、誤った取り扱いに対処することを目的としていますが、ノートブック コンピュータの盗難や誤った取り扱いを完全に防ぐものではありません
❷	PCカード スロット（1つまたは2つ、一部のモデルのみ）	別売のType I、Type II 32ビット（CardBus）および16ビットのPCカードを挿入します
❸	PCカード イジェクト ボタン（1つまたは2つ、一部のモデルのみ）	別売のPCカードをPCカード スロットから取り出します

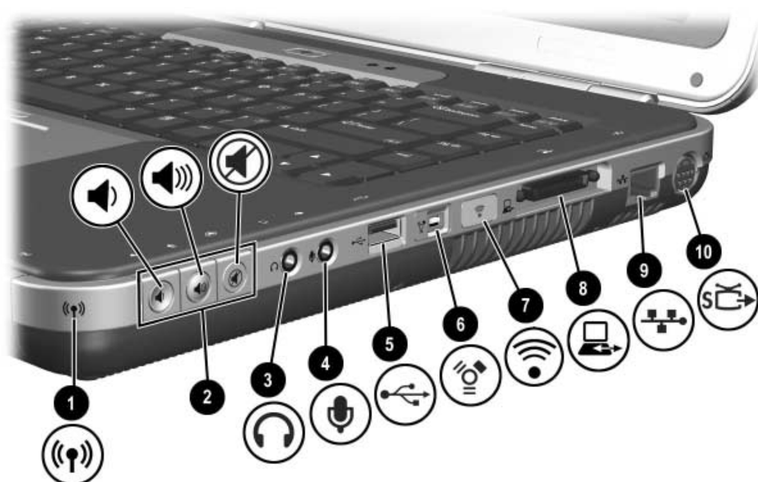
（続く）

❹	USBコネクタ（×2）	プリンタ用ケーブルなどの別売のUSBデバイスを接続します
❺	3種類の構成が可能なドライブベイ : オプションのデジタル ベイ、オプションのフロッピーディスクドライブ、またはドライブなし	デジタル ベイ : ポケットサイズのHP USBデジタル ドライブ（別売）を挿入します フロッピーディスク ドライブ : 標準的な1.4 MBのフロッピーディスクを挿入します ドライブなし : ドライブが取り付けられていません
❻	4種類のオプティカル ドライブ ベイ構成のうち1つ	■ CD-ROMドライブ ■ DVD-ROMドライブ ■ DVD/CD-RWコンボ ドライブ : 記録可能なCDに書き込めますが、記録可能なDVDには書き込めません（ドライブの種類はモデルにより異なります） ■ DVD+RW/RおよびCD-RWコンボ ドライブ : 記録可能なCDおよびDVDの両方に書き込めます

右側面の各部



	名称	機能
❶	オーディオ出力ヘッドフォンコネクタ	別売のヘッドフォン、ヘッドセット、電源付きステレオ スピーカなどを接続します。テレビやビデオデッキなどのオーディオ/ビデオ デバイスのオーディオ機能も接続できます
❷	マイク コネクタ	別売の外付けマイクを接続します
❸	USBコネクタ	プリンタ用ケーブルなどの別売のUSBデバイスを接続します
❹	1394コネクタ（一部のモデルのみ）	デジタルビデオカメラなど、別売のIEEE1394デバイスを接続します
❺	赤外線ポート（一部のモデルのみ）	別売のIrDA互換デバイスとの間で無線通信を行います
❻	拡張ポート	別売のHPノートブック拡張ベースを接続します
❼	RJ-45ネットワーク コネクタ	別売のネットワーク ケーブルを接続します
❽	Sビデオ出力コネクタ	テレビ、ビデオデッキ、ビデオカメラ、オーバーヘッド プロジェクタ (OHP)、ビデオ キャプチャ カードなどの別売のSビデオ機器を接続します

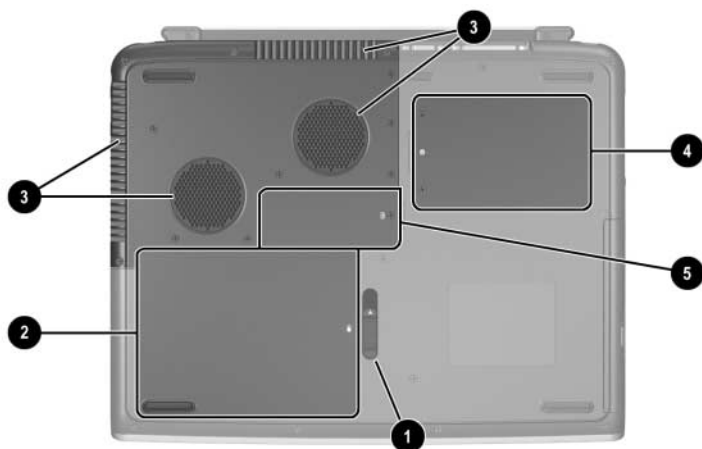


名称		機能
❶	無線オン/オフ ランプ	点灯：無線機能が有効になっていますが、無線接続は作成されていない可能性があります 消灯：有効な無線デバイスがありません
❷	音量ボタン（×3）および オーディオ ミュート ランプ	システムの音量を上げたり下げたり、消音したりします ■ 音量を下げる場合は、左のボタンを使用します ■ 音量を上げる場合は、中央のボタンを使用します ■ 消音したり音を元に戻したりする場合は、右のボタンを使用します ■ オーディオが消音されているときに、ランプが点灯します
❸	オーディオ出力ヘッドフォンコネクタ	別売のヘッドフォン、ヘッドセット、電源付きステレオ スピーカなどを接続します。テレビやビデオデッキなどのオーディオ/ビデオ デバイスのオーディオ機能も接続できます

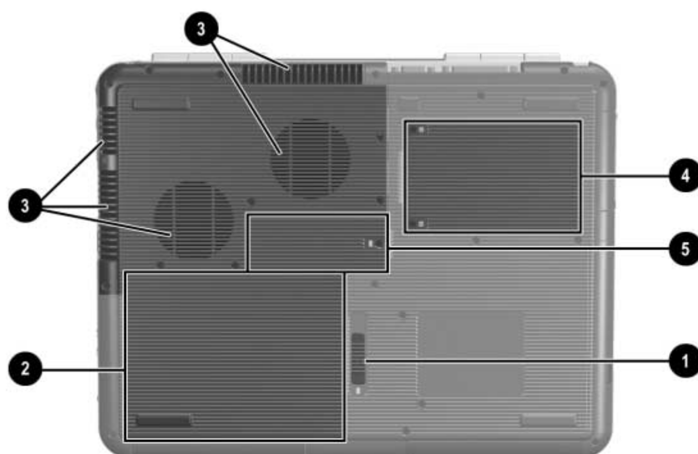
（続く）

❹	マイク コネクタ	外付けのモノラル マイクまたはステレオ マイクを接続します
❺	USBコネクタ	プリンタ用ケーブルなどの別売のUSBデバイスを接続します
❻	1394コネクタ（一部のモデルのみ）	デジタルビデオカメラなど、別売のIEEE1394デバイスを接続します
❼	赤外線ポート（一部のモデルのみ）	別売のIrDA互換デバイスとの間で無線通信を行います
❽	拡張ポート	別売のHPノートブック拡張ベースに接続します
❾	RJ-45ネットワーク コネクタ	別売のネットワーク ケーブルを接続します
❿	Sビデオ出力コネクタ	テレビ、ビデオデッキ、ビデオカメラ、オーバーヘッド プロジェクタ（OHP）、ビデオ キャプチャ カードなどの別売のSビデオ機器を接続します

裏面の各部



名称		機能
❶	バッテリ リリース ラッチ	バッテリ ベイからバッテリ パックを取り外すときに使用します
❷	バッテリ ベイ	バッテリ パックを装着します
❸	排気孔	ノートブック コンピュータ内部の温度が上がりすぎないように空気を通します 注意：コンピュータの温度が上がりすぎると、システムが予期しないタイミングで停止する場合があります。通気孔はふさがないように注意してください。隣にプリンタを置いたり、枕や毛布のように柔らかい物の上でコンピュータを使用したりするのは、空気の流れを妨げる原因となりますのでお止めください
❹	ハードドライブ ベイ	メイン ハードドライブを装着します
❺	メモリ コンパートメント	2基のメモリ スロットが装備されており、そのうち1基に128 MB、256 MB、512 MB、または1024 MBの別売のメモリ モジュールを取り付けられます。ノートブック コンピュータ モデルにより、出荷時のメモリ スロットには交換可能なメモリ モジュールが取り付けられているか、または空の状態です



名称		機能
❶	バッテリ リリース ラッチ	バッテリ ベイからバッテリ パックを取り外すときに使用します
❷	バッテリ ベイ	バッテリ パックを装着します（バッテリの種類や出荷時に取り付けられているかどうかは、モデルによって異なります）
❸	排気孔	ノートブック コンピュータ内部の温度が上がりすぎないように空気を通します 注意：コンピュータの温度が上がりすぎると、システムが予期しないタイミングで停止する場合があります。通気孔はふさがないように注意してください。隣にプリンタを置いたり、枕や毛布のように柔らかい物の上でコンピュータを使用したりするのは、空気の流れを妨げる原因となりますのでお止めください
❹	ハードドライブ ベイ	メイン ハードドライブを装着します
❺	メモリ コンパートメント	2基のメモリ スロットが装備されており、そのうち1基に128 MB、256 MB、512 MB、または1024 MBの別売のメモリ モジュールを取り付けられます。ノートブック コンピュータ モデルにより、出荷時のメモリ スロットには交換可能なメモリ モジュールが取り付けられているか、または空の状態です

ラベル

ノートブック コンピュータの裏面やバッテリ コンパートメントの内側に付いているラベルには、システムの問題を解決したり、コンピュータを日本国外で使用したりするときに必要な情報が記載されています。

- サービス タグ ラベルはノートブック コンピュータの裏面に付いており、製品名、製品番号（P/N）、およびシリアル番号（S/N）が記載されています。シリアル番号および製品番号は、サポート窓口に問い合わせるときに必要です。
- Microsoft Certificate of Authenticityラベルはノートブック コンピュータの裏面に付いており、プロダクト キー（Product Key、Product ID）が記載されています。この番号は、オペレーティング システムのアップデートまたは問題解決のときに必要になる場合があります。
- システム ラベルはバッテリ コンパートメントの内側に付いており、ノートブック コンピュータの規定に関する情報が記載されています。
- 製品識別ラベルはバッテリ コンパートメントの内側に付いており、ノートブック コンピュータのシリアル番号（S/N）とコンピュータの元のコンフィギュレーションを説明するコードが記載されています。
- モデム認定/認証ラベルはオプションの内蔵モデムに付いており、モデムの規定に関する情報が記載されています。
- 無線認定/認証ラベルは、オプションの無線デバイスごとに固有のものがバッテリ コンパートメントの内側に付いています。これらのラベルには、ノートブック コンピュータの規定に関する情報、および各国での無線デバイスの認定/認証マークや番号の一覧が記載されています。日本国外で無線デバイスを使用するときに、この情報が必要になる場合があります。

その他の標準コンポーネント

ノートブック コンピュータに付属するコンポーネントは、国やモデルによって異なります。以下の図と表では、ほとんどのモデルのコンピュータに標準装備されているコンポーネントについて説明しています。

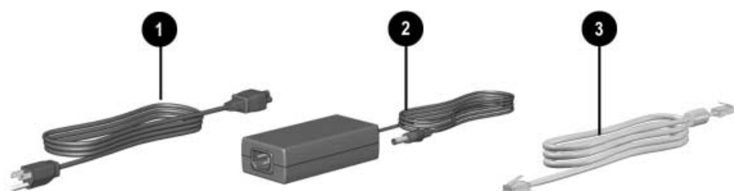
Documentation Library CD

お使いのノートブック コンピュータに付属のDocumentation Library CD（ドキュメンテーション ライブラリCD）には、以下のガイドが収録されています。

- 『ハードウェア ガイド』（このガイドです）
- 『ソフトウェア ガイド』
- 『コンピュータの手入れ、送付、持ち運び』
- 『規定および安全に関するご注意』
- 『快適に使用していただくために』
- 『トラブルシューティング ガイド』
- 『モデムおよびネットワーク接続ガイド』

Documentation Library CDの使用については、ノートブック コンピュータに付属の印刷物『スタートアップ ガイド』を参照してください。

コード、ケーブル、およびアダプタ



名称		機能
❶	電源コード*	ACアダプタとACコンセントを接続します
❷	ACアダプタ**	AC電源をDC電源に変換します
❸	モデム ケーブル（一部のモデルにのみ付属）*	モデムをRJ-11コネクタまたは各国仕様のモデム アダプタに接続するときに使用します

*電源コードやモデム ケーブルは、地域によって外観が異なります。

**ACアダプタは、地域によって異なります。

2

タッチパッドとキーボード

タッチパッドの使用

タッチパッドは、別売の外付けマウスと同様に機能します。

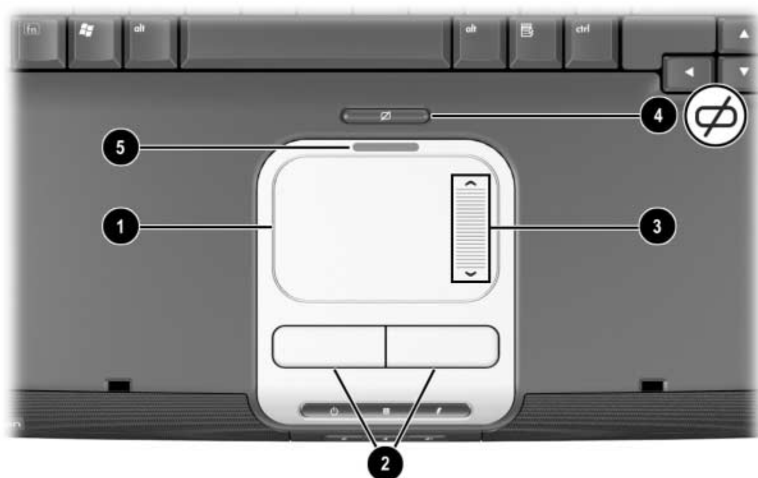
■ ポインタを移動するには、タッチパッドの表面❶で、カーソルを移動したい方向に指を動かします。

✎ タッチパッドから指を離してもカーソルが移動し続ける場合は、カーソルの動きが止まるまで数秒間待ちます。

■ タッチパッドの左ボタンと右ボタン❷は、外付けマウスの左右のボタンと同様に機能します。

■ タッチパッドのスクロール パッド❸は、ウィンドウの端にあるスクロール バーの矢印と同様に機能します。このスクロール パッドを使って、表示画面を左右上下に移動できます。

■ タッチパッド オン/オフ ボタン❹を使用して、タッチパッドを無効にします。これにより、タッチパッド ランプ❺が消灯します。

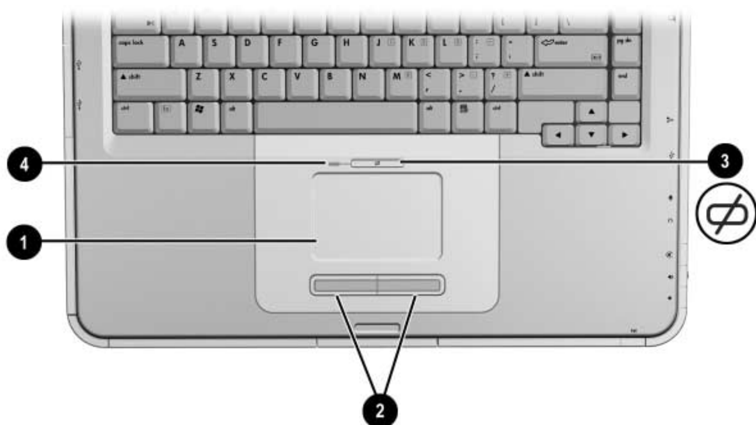


タッチパッド コンポーネントの位置

- ポインタを移動するには、タッチパッドの表面❶で、カーソルを移動したい方向に指を動かします。

✎ タッチパッドから指を離してもカーソルが移動し続ける場合は、数秒間待つとカーソルの動きが止まります。

- タッチパッドの左ボタンと右ボタン❷は、外付けマウスの左右のボタンと同様に機能します。
- タッチパッド オン/オフ ボタン❸を使用して、タッチパッドの電源を切ります。これにより、タッチパッド ランプ❹が消灯します。



タッチパッド コンポーネントの位置

タッチパッド機能のカスタマイズ

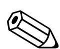
タッチパッドは、オペレーティング システムのマウス ソフトウェアによってサポートされています。**[マウスのプロパティ]**ウィンドウを表示するには、**[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[プリンタとその他のハードウェア]**→**[マウス]**の順に選択します。

次の機能を設定できます。

- **タッチパッドのタップ**：タッチパッドを1回または2回タップしてオブジェクトを選択するように設定できます。
- **慣性の動作**：指がタッチパッドの端まできてもスクロールし続けるように設定できます。
- **タイプ入力**：キーボードでの入力時の、不注意によるタップを防止します。

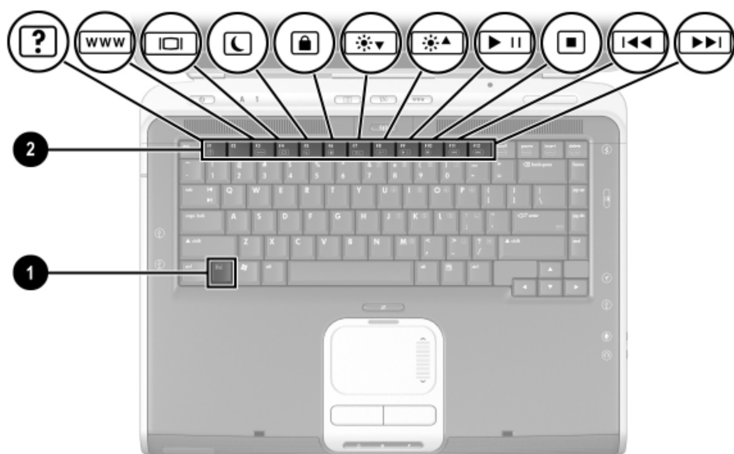
この他に、マウスの感度、バーチャル スクロール、軌跡、速度なども**[マウスのプロパティ]**ウィンドウで設定できます。

ホットキーの使用

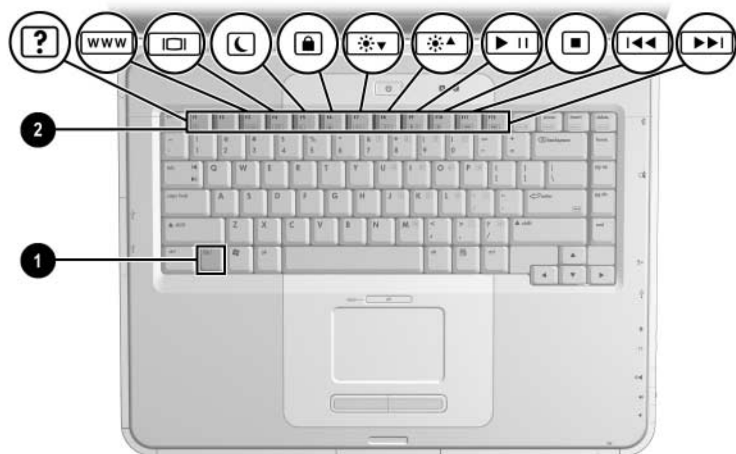


このガイドでは、ファンクション キーは大文字（[Fn]、[F5]）で表記されていますが、お使いのキーボードによっては小文字（[fn]、[f5]）で表記されています。

ホットキーは、[Fn]キー❶とファンクション キー❷との組み合わせです。お使いのノートブック コンピュータで利用できるホットキーの機能は、[F2]を除く[F1]～[F12]のファンクション キーにアイコンで示されています。[F2]のファンクション キーは使用しません。



ホットキーの位置



ホットキーの位置

ホットキーのクイック リファレンス

次の表に、出荷時設定でのホットキーの機能を示します。

デフォルト機能	ホットキー
[ヘルプとサポート センター]を開く	[Fn]+[F1]
使用しない	[Fn]+[F2]
Microsoft Internet Explorerを開く	[Fn]+[F3]
表示画面の切り替え	[Fn]+[F4]
スタンバイの起動	[Fn]+[F5]
QuickLock（クイックロック）の起動	[Fn]+[F6]
画面の輝度を下げる	[Fn]+[F7]
画面の輝度を上げる	[Fn]+[F8]
オーディオCDやDVDの再生、一時停止、または再開	[Fn]+[F9]
オーディオCDやDVDの停止	[Fn]+[F10]
オーディオCDやDVD内の前のトラックまたはチャプタの再生	[Fn]+[F11]
オーディオCDやDVD内の次のトラックの再生	[Fn]+[F12]

ホットキーの操作

ノートブック コンピュータのキーボードでホットキー コマンドを使用するには、以下の操作のどちらかを行います。

- [Fn]キーを短く押し、次にホットキー コマンドの2番目のキーを短く押します。

  または

- [Fn]キーを押しながら、ホットキー コマンドの2番目のキーを短く押し、両方のキーを同時に離します。

ホットキー コマンド

[ヘルプとサポート センター]を開く（[Fn]＋[F1]）

[ヘルプとサポート センター]は、HPのサポート窓口へ問い合わせ、最新のソフトウェア ドライバや製品情報を入手し、お使いのノートブック コンピュータの使用や手入れの方法について確認するための、包括的なオンライン リソース ツールです。

[Fn]＋[F1]ホットキーを押すと、[ヘルプとサポート センター] ウィンドウを開くことができます。

Internet Explorerを開く（[Fn]＋[F3]）

[Fn]＋[F3]ホットキーを押すと、Microsoft Internet Explorerを開くことができます。

表示画面の切り替え（[Fn]＋[F4]）

[Fn]＋[F4]ホットキーを押すと、ノートブック コンピュータに接続されているディスプレイ デバイスの間で表示画面を切り替えることができます。たとえば、コンピュータに外付けモニタを接続している場合は、[Fn]＋[F4]を複数回押すと、コンピュータ本体のディスプレイ、コンピュータ本体と外付けモニタの両方のディスプレイ、外付けモニタのディスプレイの順序で表示画面が切り替わります。

スタンバイの起動（[Fn]＋[F5]）

[Fn]＋[F5]ホットキーは、スタンバイを起動するようにデフォルトで設定されています。

■ ノートブック コンピュータの電源が入っているときに[Fn]＋[F5]ホットキーを押すと、スタンバイが起動します。スタンバイが起動すると、作業中のファイルがランダム アクセス メモリ（RAM）に保存され、画面が消えて節電モードになります。コンピュータがスタンバイ状態のときは、電源/スタンバイ ランプが点滅します。

■ スタンバイを終了するには電源ボタンを短く押すか、タッチパッド、キーボードのキー、またはその他のポインティング デバイスをタップします。

[Fn]＋[F5]ホットキーの機能（Windowsでは「スリープ ボタン」と呼ばれます）は、変更することができます。たとえば、[Fn]＋[F5]ホットキーを押すと、スタンバイではなくハイバネーションが起動するように設定できます。スタンバイ、ハイバネーション、および[Fn]＋[F5]ホットキーの機能の変更方法について詳しくは、このCDに収録されている『ソフトウェア ガイド』の「電源」を参照してください。

QuickLock（クイックロック）の起動（[Fn]＋[F6]）

オペレーティング システムのQuickLockセキュリティ機能を使用すると、キーボードおよびポインティング デバイスが使用できなくなり、ログオン画面が表示されます。QuickLock機能を使用しても、タッチパッドは無効になりません。

この機能を使用する前に、Windowsのシステム パスワードを設定しておく必要があります。詳しくは、オペレーティング システムに付属のマニュアルを参照してください。

QuickLockを起動するには、[Fn]＋[F6]ホットキーを押します。QuickLockを無効にするには、Windowsのシステム パスワードを入力します。

画面の輝度を下げる（[Fn]＋[F7]）

[Fn]＋[F7]ホットキーを押すと、ノートブック コンピュータ画面の輝度を下げることができます。輝度を下げると、電力を節約できます。

画面の輝度を上げる（[Fn]＋[F8]）

[Fn]＋[F8]ホットキーを押すと、ノートブック コンピュータ画面の輝度を上げることができます。

オーディオCDやDVDの再生、一時停止、または再開（[Fn]＋[F9]）

オプティカル ドライブにオーディオCDまたはDVDが入っているときに[Fn]＋[F9]ホットキーを押すと、再生できます。

オプティカル ドライブでオーディオCDまたはDVDを再生しているときに[Fn]＋[F9]ホットキーを押すと、一時停止できます。

[Fn]＋[F9]ホットキーを使ってオプティカル ドライブのオーディオCDまたはDVDを一時停止した場合は、[Fn]＋[F9]ホットキーをもう一度押すと再開できます。

オーディオCDやDVDの停止（[Fn]＋[F10]）

オプティカル ドライブでオーディオCDまたはDVDを再生しているときに[Fn]＋[F10]ホットキーを押すと、停止できます。

オーディオCDやDVD内の前のトラックの再生（[Fn]＋[F11]）

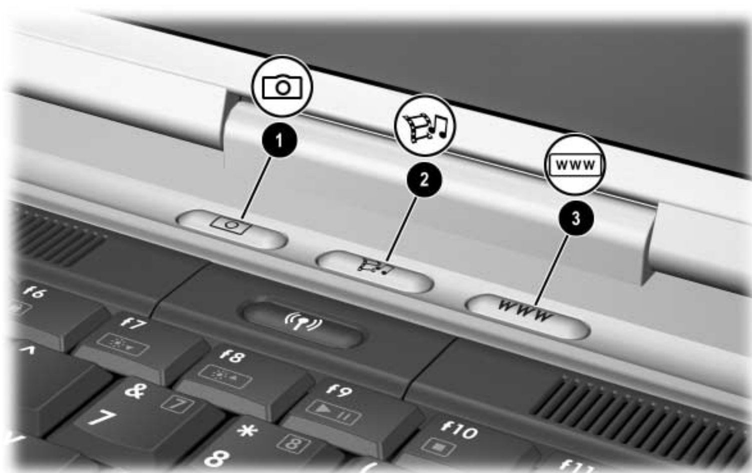
[Fn]＋[F11]ホットキーを押すと、オプティカル ドライブで再生中のオーディオCDまたはDVD内で直前に再生していたトラックを再生できます。

オーディオCDやDVD内の次のトラックの再生（[Fn]＋[F12]）

[Fn]＋[F12]ホットキーを押すと、オプティカル ドライブで再生中のオーディオCDまたはDVD内の次のトラックを再生できます。

Quick Launch Buttonsの使用

3つのQuick Launch Buttons（クイック ローンチ ボタン）を使うと、1回ボタンを押すだけで、デフォルトのソフトウェア アプリケーションやインターネットにアクセスできます。



Quick Launch Buttonsの位置

ボタン名		デフォルトの割り当て
❶	Picture	[マイ ピクチャ]フォルダが開き、デフォルトの写真および画像のソフトウェア アプリケーションが起動します
❷	Media	デフォルトのマルチメディア ソフトウェア アプリケーションが起動します
❸	Internet	Microsoft Internet Explorerまたはカスタマイズ可能な個人用Webページを開きます

Quick Launch Buttonsの再プログラム

Quick Launch Buttonsには、任意のソフトウェア アプリケーション、インターネットやネットワーク上の特定の場所、または特定のデータ ファイルを割り当てることができます。たとえば、インターネット ブラウザでお気に入りのWebページを開く、Microsoft Wordなどのアプリケーションを開く、Excelワークシートなど特定のファイルを開くといった操作を割り当てることができます。

ボタンの割り当ては、スキームに分類できます。特定のスキームを選択すると、そのスキーム内のボタン割り当てだけが有効になります。ボタン割り当てとスキームを設定、変更、または削除するには、[Quick Launch Buttons]ウィンドウを使用します。

ボタンを再プログラムするには、以下の手順で操作します。

1. [スタート]→[コントロール パネル]→[プリンタとその他のハードウェア]→[Quick Launch Buttons]の順に選択します。
2. [設定]タブで、再プログラムするボタンを選択します。
3. ボタンに付ける名前を入力して、そのボタンから起動したり開いたりするアプリケーション、ドキュメント、フォルダ、またはWebサイトを選択します。

ボタンのアイコンをタスクバーまたはデスクトップに表示させるには、そのオプションを[詳細設定]タブで選択します。

テンキー

お使いのノートブック コンピュータには、テンキーが内蔵されています。また、別売の外付けテンキーや、テンキーを備えた別売の外付けキーボードも使用できます。

テンキーの使用

テンキーには、外付けテンキーと同じように使用できる15個のキーがあります。

テンキーが有効のときは、テンキーを押すと、そのキーの側面にあるアイコンで示された機能が実行されます。

内蔵テンキーが有効のときでも、通常の文字入力機能は使用できます。この章の「テンキーの有効/無効の切り替え」を参照してください。



テンキーの位置



テンキーの位置

テンキーの有効/無効の切り替え

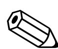
テンキーが無効のときは､ノートブック コンピュータの[Fn]＋[num lock]ホットキー❶を押すと、テンキーが有効になります。テンキーが有効のときは、コンピュータの[Fn]＋[num lock]ホットキー（または外付けテンキーの[num lock]キー）を押すと、テンキーが無効になります。

次の2つの状態のときは、Num Lockランプ❷が点灯します。

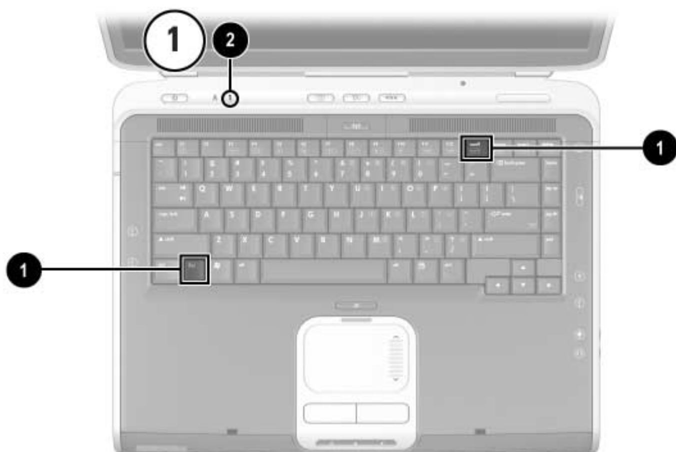
■ テンキーが有効のとき

　または

■ 別売の外付けテンキーを､Num Lockが有効な状態でシステムに接続しているとき



別売のHPノートブック拡張ベースのUSBコネクタに別売の外付けテンキーを接続しているときは、テンキーは有効にできません。



[Fn]キー、[num Lock]キー、およびNum Lockランプの位置



[Fn]キー、[num Lock]キー、およびNum Lockランプの位置

テンキーの機能の切り替え

[Fn]キーまたは[Fn]＋[shift]キーを使って、テンキーの通常の機能とテンキー機能とを一時的に切り替えることができます。

- テンキーが無効のときに通常のキー機能をテンキー機能として使用するには、[Fn]キーを押しながらテンキーを押します。
- テンキーが有効のときに、テンキー機能を通常のキー機能として使用するには、次の操作を行います。
  - 小文字を入力するには、[Fn]　キーを押しながら文字を入力します。
  - 大文字を入力するには、[Fn]＋[shift]キーを押しながら文字を入力します。

[Fn]キーを離すと、通常の機能に戻ります。

作業中のNumLockモードの切り替え

作業中に外付けテンキーのNum Lockの有効/無効を切り替えるには、ノートブック コンピュータのテンキーではなく、外付けテンキーの[num lock]キーを押します。

3

バッテリ パック

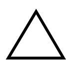
バッテリ電源でのノートブック コンピュータの実行

ノートブック コンピュータでは、外部AC電源が利用できるかどうかによって、AC電源とバッテリ電源が自動的に切り替わりますが、常にAC電源が優先されます。充電済みのバッテリ パックを装着し、外部AC電源を使用しているときは、ACアダプタをコンピュータから取り外した場合にのみ、バッテリ電源に切り替わります。

バッテリ パックを装着しておくと、ノートブック コンピュータを外部電源に接続している間は常にバッテリ パックを充電できます。また、停電があった場合でも作業中のファイルを守ることができます。

ただし、ノートブック コンピュータの電源が切れている間にも、バッテリ パックは少しずつ放電します。バッテリ パックをコンピュータに装着しておくかどうかは、作業状況に応じて決まります。

バッテリ パックの装着または取り外し



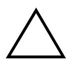
注意：1つのバッテリ パックのみをノートブック コンピュータの電源として使用しているときに、そのバッテリ パックを取り出す場合は、データの損失を防ぐため、ハイバネーションを起動するかコンピュータの電源を切ってください。

バッテリ パックの装着や取り外しを行うには、以下の操作を行います。

■ ノートブック コンピュータの電源を切るか、電源ボタンを短く押してハイバネーションを起動します。

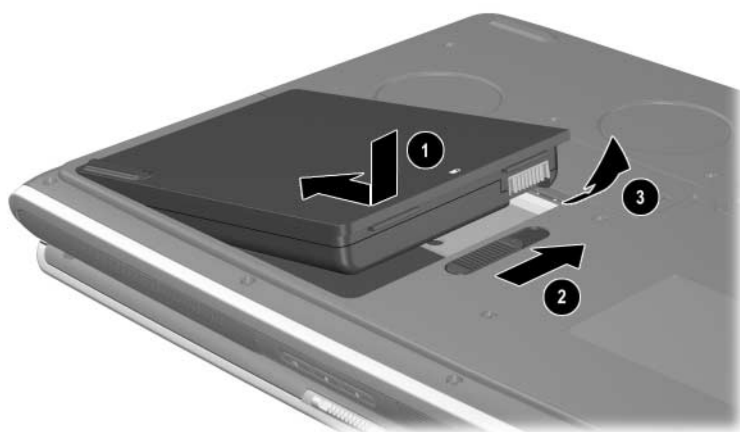
■ バッテリ パックを装着するには、バッテリ ベイにバッテリ パックを挿入し、しっかりと収まるまで押し込みます❶。

■ バッテリ パックを取り外すには、バッテリ リリース ラッチをノートブック コンピュータの背面方向にスライドさせて押さえたまま❷、バッテリ ベイからバッテリ パックを抜き取ります❸。



注意：電源/スタンバイ ランプが消灯して、ハイバネーション状態に入ったことが示されるまで、電源を入れないでください。

■ ノートブック コンピュータの電源を入れるか、電源ボタンを短く押してハイバネーションから復帰します。



バッテリ パックの装着または取り外し



バッテリ パックの装着または取り外し

バッテリ パックの充電

ACアダプタを使用してノートブック コンピュータを外部電源に接続しているときは、バッテリ パックは自動的に充電されます。コンピュータの電源がオフになっていても使用中でも、バッテリ パックは充電されますが、コンピュータの電源がオフの状態のほうが早く充電されます。コンピュータが使用中の場合、システムの動作に応じて充電時間が長くなります。

バッテリ パックの充電中は、ノートブック コンピュータのバッテリ ランプが点灯します。バッテリの充電が完了すると、ランプが消灯します。



バッテリ ランプの位置



バッテリ ランプの位置

正確なバッテリ残量の表示

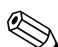
バッテリ パックを充電することでバッテリ パックの寿命が延び、バッテリ ゲージの精度が向上します。バッテリを充電するときは、以下の事項を守ってください。

- バッテリ パックを完全に放電してから充電してください。
- バッテリ パックは完全に充電してください。新しいバッテリ パックでも、完全に充電されていない場合は不正確な情報が表示されることがあります。
- バッテリ パックを完全に充電および放電することで、バッテリ ゲージを調整する回数を減らすことができます。
- ノートブック コンピュータを1か月以上使用していない場合、バッテリ ゲージの調整が必要です。詳しくは、この章の「バッテリ ゲージの調整」を参照してください。

バッテリ充電情報の表示

バッテリの残量を確認するには、次の操作を行います。

» **[スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]→[電源メーター]**の順に選択します。



[バッテリ メーター]アイコンがタスクバーに表示されている場合、バッテリ パックとAC電源のどちらが主電源であるかによって、表示される形が変わります。

バッテリ充電情報の解釈

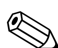
ほとんどの場合、充電情報には、バッテリの状態が残量のパーセントと残りの動作時間で示されます。

残りの動作時間は、現在のレベルでバッテリ パックの電力を使い続けた場合にバッテリ パックを使用できる推定残り時間を示します。たとえば、DVDの再生を開始するとバッテリの動作時間が短くなり、停止すると動作時間が長くなります。

タスクバーへの[バッテリ メーター]アイコンの表示

[バッテリ メーター]アイコンをタスクバーに表示させるには、次の操作を行います。

» **[電源オプション]**ウィンドウ→**[詳細設定]**タブの順に選択して、**[アイコンをタスクバーに常に表示する]**チェック ボックスをオンにします。



[バッテリ メーター]アイコンがタスクバーに表示されている場合、バッテリ パックとAC電源のどちらが主電源であるかによって、表示される形が変わります。

ローバッテリ状態の対処

ローバッテリ状態または完全なローバッテリ状態に対処することは重要です。ここでは、デフォルトの電源設定およびローバッテリ状態でデータを保護する方法について説明します。

ローバッテリ状態の識別

ノートブック コンピュータの電源としてバッテリ パックのみを使用しており、バッテリ残量が5パーセントになると、コンピュータがローバッテリ状態になります。ローバッテリ状態になると、バッテリ ランプが点滅し、画面に警告メッセージが表示されます。

[電源オプション]ユーティリティを使用すると、ローバッテリ状態を再定義したり、音声による警告を設定したり、その他のデフォルトの電源設定を変更したりできます。詳しくは、Documentation Library CDに収録されている『ソフトウェア ガイド』の「電源」を参照してください。

完全なローバッテリ状態の識別

ローバッテリ状態を解決しないと、ノートブック コンピュータは完全なローバッテリ状態になります。デフォルトでは、バッテリ残量が完全充電時の3パーセントになると、完全なローバッテリ状態とみなされます。

完全なローバッテリ状態になると、バッテリ ランプが点滅し続け、システムは次のように応答します。

- ハイバネーションが有効（デフォルトの設定）で、ノートブック コンピュータの電源が入っているかスタンバイ状態のときは、ハイバネーションが起動し、システム メモリがハードドライブに保存されます。保存していないデータは失われる可能性があります。
- ハイバネーションが無効で、ノートブック コンピュータの電源が入っているかスタンバイ状態のときは、短い時間スタンバイ状態になってから、システムが終了します。電源/スタンバイ ランプが消灯し、システム メモリはハードドライブに保存されません。

ハイバネーション設定の確認

ハイバネーションはデフォルトで有効になっており、ローバッテリ状態のときにデータを保存する重要な機能があります。ハイバネーションが有効になっていることを確認するには、**[バッテリ メーター]**アイコンを選択するか、次の操作を行います。

» **[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[パフォーマンスとメンテナンス]**→**[電源オプション]**→**[休止状態]**の順に選択します。**[休止状態を有効にする]**チェック ボックスがオンになっていることを確認します。

ローバッテリ状態の解決



注意：ノートブック コンピュータが完全なローバッテリ状態になり、ハイバネーションが起動した場合は、電源/スタンバイ ランプが消灯してハイバネーション状態に入ったことが示されるまで、電源を入れないでください。

- ノートブック　コンピュータに外部電源を利用できる場合は、ACアダプタを接続します。
- 充電済みのバッテリ パックが利用できる場合は、ノートブック コンピュータの電源を切るかハイバネーションを起動し、充電済みのバッテリ パックを装着してから、コンピュータの電源を入れます。
- 電源が利用できない場合は、作業中のファイルを保存し、ハイバネーションを起動するかノートブック コンピュータの電源を切ります。

電源を入れなおしたときにハイバネーションから復帰できない場合は、復元したデータを削除してからシステムの起動を続行するように指示するメッセージが表示されます。保存していないデータは失われる可能性があります。

バッテリ ゲージの調整

バッテリ ゲージの調整が必要な時

バッテリ パックを頻繁に使用している場合でも、1か月に2回以上調整を行う必要はありません。また、新しいバッテリ パックを初めて使用する前にバッテリ ゲージを調整する必要はありません。ただし、特に電源としてバッテリ パックのみを使用している場合は、バッテリ パックが完全に充電されていることを確認してください。

次の場合は、バッテリ ゲージの調整が必要です。

- バッテリ状態の表示が不正確な場合
- バッテリの通常の動作時間が極端に変化した場合
- バッテリ パックを1か月以上使用していない場合

バッテリ ゲージの調整方法

バッテリ ゲージを調整するには、バッテリ パックを完全に充電し、完全に放電してから、再び完全に充電します。

バッテリ パックの充電

バッテリ パックは、ノートブック コンピュータの使用中に完全に充電します。以下の手順でバッテリ パックを充電します。

1. ノートブック コンピュータにバッテリ パックを装着します。
2. ACアダプタを使用して、ノートブック コンピュータを外部電源に接続します。バッテリ ランプが点灯します。

バッテリ パックの充電が完了すると、バッテリ ランプが消灯します。

バッテリ パックの放電

ハイバネーションを無効にする方法

バッテリ パックを完全に放電するには、一時的にハイバネーションを無効にします。

ハイバネーションを無効にするには、以下の操作を行います。

» タスクバーの[**バッテリ メーター**]アイコンを選択するか[**電源オプション**]→[**休止状態**]の順に選択して、[**休止状態を有効にする**]チェック ボックスをオフにします。

バッテリ パックの放電



注意： 放電中にノートブック コンピュータを放置しておく場合は、放電を始める前に作業中のファイルを保存してください。

バッテリ ランプが消灯し、バッテリ パックが完全に充電されたら、バッテリ パックの放電を開始します。

バッテリ パックを完全に放電するには、以下の手順で操作します。

1. タスクバーの[**バッテリ メーター**]アイコンを選択するか、[**スタート**]→[**コントロール パネル**]→[**パフォーマンスとメンテナンス**]→[**電源オプション**]→[**電源設定**]の順に選択します。
2. バッテリ ゲージ調整後に設定を元に戻せるように、[**電源に接続**]列の4つの設定と[**バッテリ使用**]列の4つの設定を書き留めておきます。



[**電源に接続**]列および[**バッテリ使用**]列に表示されるオプションの数は、休止状態を有効にしているかどうかによって異なります。

3. ドロップダウン リストで、これら8つのオプションをすべて[**なし**]に設定します。
4. [**OK**]ボタンを選択します。
5. ノートブック コンピュータを外部電源から切断します。ただし、コンピュータの電源は切らないでください。

6. バッテリ パックが完全に放電するまで、バッテリ電源でノートブック コンピュータを動作させます。バッテリ パックがローバッテリ状態まで放電すると、バッテリ ランプが点滅し始めます。バッテリ パックが完全に放電すると、バッテリ ランプが消灯し、コンピュータの電源が切れます。

バッテリ パックの再充電

1. バッテリ パックが完全に再充電されてバッテリ ランプが緑色に点灯するまで、ノートブック コンピュータを外部電源に接続しておきます。


バッテリ パックの再充電中でもノートブック コンピュータは使用できますが、電源を切っておく方が充電が早く完了します。

2. タスクバーの**[バッテリ メーター]**アイコンを選択するか、**[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[パフォーマンスとメンテナンス]**→**[電源オプション]**→**[電源設定]**の順に選択します。
3. **[電源に接続]**列の4つのオプションと**[バッテリ使用]**列の4つのオプションを、書き留めておいた設定に戻します。


[電源に接続]列および**[バッテリ使用]**列に表示されるオプションの数は、休止状態を有効にしているかどうかによって異なります。

4. **[OK]**ボタンを選択します。


注意：バッテリ ゲージの調整後にハイバネーションを再び有効にするには、**[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[パフォーマンスとメンテナンス]**→**[電源オプション]**→**[休止状態]**の順に選択して、**[休止状態を有効にする]**チェック ボックスをオンにします。

バッテリ節電の方法と設定

以下に示すバッテリ節電方法および設定に従うと、バッテリ パックの動作時間を長くすることができます。

作業中の節電

ノートブック コンピュータの使用時に節電するには、以下の操作を行います。

- ACアダプタを接続します（特にCD-ROMドライブ、DVD-ROMドライブ、またはその他の外付けデバイスを接続している場合）。
- ネットワークに接続する必要がないときは無線接続とローカル エリア ネットワーク（LAN）接続を無効にして、モデムを使用するアプリケーションを使用後すぐに終了します。
- 自動タイムアウト設定を行うことで、さらに節電します。
- 外部電源に接続されておらず、使用していない外付けデバイスを取り外します。
- 使用していないPCカードまたはデジタル メディア カードを停止するか取り出します。
- [Fn] ＋ [F7] ホットキーを使用して、画面の輝度を下げます。[Fn] ＋ [F7]ホットキーの使用について詳しくは、「ポインティング デバイスとキーボード」の「ホットキー コマンド」を参照してください。
- 内蔵スピーカの代わりに、別売の電源付きスピーカを使用します。または、必要に応じてすばやくシステム警告音の音量を調節するには、音量ボタンを使用します。
- Sビデオ コネクタに接続しているデバイスをオフにします。
- しばらく作業を行わないときは、スタンバイまたはハイバネーションを起動するか、ノートブック コンピュータの電源を切ります。

- ディスプレイの電源を切るまでの時間を5分以下に設定します。設定されている時間を変更するには、**[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[パフォーマンスとメンテナンス]**→**[電源オプション]**→**[電源設定]**の順に選択します。**[モニタの電源を切る]**ドロップダウン リストから短い時間を選択して、[OK]を選択します。

電源オプションの使用について詳しくは、このCDに収録されている『ソフトウェア ガイド』の「電源」を参照してください。

バッテリ パックの保管



注意：バッテリ パックの損傷を防ぐため、長期間にわたって高温の場所に放置しないでください。

2週間以上ノートブック コンピュータを使用せず、外部電源から切り離しておく場合は、バッテリ パックをコンピュータから取り出して別々に保管します。

高温の場所にバッテリ パックを保管すると、自然放電の速度が速まるので、気温や湿度の低い場所に保管してください。

1か月以上保管したバッテリ パックを使用する前には、バッテリ ゲージの調整を行ってください。これにより、ノートブック コンピュータに表示されるバッテリ情報を正確に保つことができます。

使用済みのバッテリ パックの処理



警告：化学薬品による火傷や発火の恐れがありますので、バッテリ パックをつぶしたり、穴を開けたり、接点をショートさせたりすることは絶対におやめください。また、60℃より高温の環境に放置したり、水や火の中に捨てたりしないでください。

日本では、バッテリ パックを処分する場合は、お住まいの地域の地方自治体の規則または条例に従って、公共の収集システム等を利用して正しく廃棄またはリサイクルしてください。

バッテリ パックの使用上の注意と廃棄の方法、および各国の規定に関する情報の全文は、このCDに収録されている『規定および安全に関するご注意』に記載されています。

電源に関する詳細情報の参照先

節電、電源の設定、およびスタンバイとハイバネーションの使用について詳しくは、このCDに収録されている『ソフトウェア ガイド』の「電源」を参照してください。

4

ドライブ

ドライブに関する用語について

「**ハードドライブ**」は通常、システム ファイル、アプリケーション、ドライバなどのデータ ファイルおよびソフトウェアを永続的に保存するために使用します。ハードドライブは、「ハード ディスク ドライブ」とも呼ばれます。

「**別売のディスク ドライブ**」（一部のモデルのみ）には、フロッピーディスク ドライブが含まれます。フロッピーディスク ドライブは、「フロッピー ドライブ」または「ディスケット ドライブ」とも呼ばれます。ディスク ドライブは通常、データを保管または移動するために使用します。

「**オプティカル ドライブ**」には、CDドライブやDVDドライブなどが含まれます。オプティカル ドライブは、データを保管または移動したり、動画や音楽を再生したりするために使用します。DVDドライブの方が、CDドライブより扱う記憶容量が大きくなります。



DVD+RW/RおよびCD-RWコンボ ドライブでは、記録可能なCDおよび記録可能なDVDの両方に書き込みができます。



DVD/CD-RWコンボ ドライブでは、記録可能なCD（CD-RおよびCD-RWメディア）に書き込めますが、記録可能なDVD（DVD+R、DVD+RW、DVD-R、またはDVD-RWメディア）には書き込めません。

お使いのモデルによって、オプティカル ドライブでは次の表に示すようにノートブック コンピュータから読み取りまたは書き込みができます。

オプティカル ドライブ	読み取り	書き込み
CD-ROM	可	不可
DVD-ROM	可	不可
DVD/CD-RWコンボ	可	可、ただしCDメディアのみ
DVD+RW/Rおよび CD-RWコンボ	可	可

「**別売のHP USBデジタル ドライブ**」（一部のモデルのみ）はポケットサイズのSD（Secure Digital）メモリ カード ドライブで、デジタル画像、音楽、動画などのファイルや、より大きいデータ ファイルを保存および移動するために使用します。HP USBデジタル ドライブはオプションのデジタル ベイに接続でき、またHP USBデジタル ドライブ ケーブルを引き出した状態でも収納した状態でも、USBポートに接続できます。

ドライブで挿入または取り出しができる「フロッピーディスク」や「ディスク」を、「ドライブ メディア」といいます。このガイドでは、フロッピーディスク ドライブで使用するドライブ メディアを「フロッピーディスク」、大容量ディスク ドライブで使用するドライブ メディアを「ディスク」、オプティカル ドライブ（CD-ROMドライブやDVD-ROMドライブなど）で使用するドライブ メディアを「オプティカル ディスク」と呼びます。「ドライブ メディア」という用語にはフロッピーディスク、CD、およびDVDが含まれます。

ドライブとドライブ メディアの取り扱い上の注意

ドライブおよびドライブ メディアは、コンピュータ コンポーネントの中でも繊細なコンポーネントです。そのため、注意して取り扱う必要があります。次ページに示すのは、すべてのドライブに適用される注意事項です。特定の手順に関する注意事項については、操作手順の説明とともに示します。

ドライブの取り扱い上の注意



注意：ノートブック コンピュータやドライブが損傷したりデータが失われたりすることを防ぐために、次の点に注意してください。

- 修理または交換を行うとき以外は、内蔵ハードドライブを取り外さないでください。
- 使用中のデジタル ドライブを取り外さないでください。
- 静電気によって電子部品が損傷する可能性があります。静電気の放電によってノートブック コンピュータやドライブが損傷することを防ぐために、以下の2つの予防措置をとってください。(1) ドライブに触れる前に、アースされた金属面に触るなどして、身体にたまった静電気を放電してください。(2) ドライブのコネクタに触れないようにしてください。静電気対策について詳しくは、Documentation Library CDに収録されている『規定および安全に関するご注意』の「静電気の放電」を参照してください。
- ドライブを取り付けるときには、無理な力を加えないでください。差し込む力が強すぎると、コネクタが壊れる恐れがあります。
- ドライブは、落としたり、衝撃を与えたりしないように慎重に取り扱ってください。
- 磁気を発する装置にハードドライブを近づけないようにしてください。磁気を発する製品には、ビデオ テープ レコーダ、オーディオ テープ レコーダ、モニタ、スピーカなどが含まれます。磁気を発するセキュリティ装置には、空港の金属探知器や金属探知棒が含まれます。空港の機内持ち込み手荷物をベルト コンベア上でチェックするセキュリティ装置は、磁気ではなくX線を使ってチェックを行うので、ハードドライブには影響しません。
- ドライブに洗剤などを垂らさないでください。
- 液体をドライブに垂らしたり、高温の場所にドライブを放置したりしないでください。
- ドライブを郵便や宅配便で送付する場合は、衝撃、振動、および高温多湿の環境からドライブを保護するように緩衝材で包み、しっかりと梱包して「コワレモノ—取り扱い注意」などのラベルを貼ってください。

ドライブ メディアの取り扱い上の注意



注意：ドライブ メディアの損傷を防ぐため、次の点に注意してください。

- フロッピーディスクの金属のシャッターを開けたり、フロッピーディスク ケース内のディスクに触れたりしないでください。
- 金属探知器や手持ち式の金属探知棒など、強い磁気を発する装置にはフロッピーディスクを近づけないでください。
- CDまたはDVDを清掃するときは、一般の電化製品店で購入できる、ディスク用のクリーニング キットのみを使用してください。

ドライブ メディアの使用

スタンバイおよびハイバネーションの防止



注意：オプティカル ドライブ メディアの再生中にスタンバイまたはハイバネーションを起動すると、再生が停止したり、再生品質が低下したりする場合があります。

スタンバイまたはハイバネーションを起動する前に、すべてのメディアを停止します。オプティカル ドライブを使用中に、誤ってスタンバイまたはハイバネーションを起動した場合、**[コンピュータが休止またはスタンバイ状態になると、再生は停止します。再生を再開するには、[再生]をクリックします。コンテンツは最初から再生されます。続行しますか?]**という警告が表示される場合があります。**[いいえ]**を選択します。

電源ボタンを短く押して、ハイバネーションまたはスタンバイから復帰します。オーディオまたはビデオが再開されない場合は、ドライブ メディアを再生しなおす必要があります。

スタンバイおよびハイバネーションについて詳しくは、このCDに収録されている『ソフトウェア ガイド』の「電源」を参照してください。

メディアの内容の表示

自動再生は、オペレーティング システムの機能の1つで、「自動実行」とも呼ばれます。自動再生が有効なときは、オプティカル ドライブにCDまたはDVDを挿入してトレイを閉じると、メディアの内容が画面に自動的に表示されます。

自動再生機能はデフォルトで有効に設定されていますが、無効に設定することもできます。

自動再生機能の設定

自動再生機能は、オペレーティング システムを通して有効または無効に設定できます。

1. [スタート]→[マイ コンピュータ]の順に選択します。
2. オプティカル ドライブを右クリックします。
3. [プロパティ]→[自動再生]の順に選択し、画面の指示に従います。

オーディオCDの自動再生の中止

自動再生機能が有効なときにオーディオCDが自動的に再生されることを防ぐには、[shift]キーを押しながらCDを挿入します。

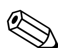
CDまたはDVDの内容の表示

自動再生機能が無効なときは、CDまたはDVDを挿入しても内容は表示されません。この場合は、次のように手動で内容を表示する必要があります。

1. [スタート]→[ファイル名を指定して実行]の順に選択し、次のように入力します。

   X:

   （**X**は、CDまたはDVDを挿入したドライブです）
2. [enter]キーを押します。



ドライブ名は、ドライブの識別に使用されるアルファベットの文字です。システム内のドライブのドライブ名を確認するには、**[スタート]**→**[マイコンピュータ]**の順に選択します。

システムへのドライブの追加

内蔵ハードドライブおよびオプティカルドライブは、ノートブック コンピュータの標準の機能です。オプティカル ドライブの種類は、コンピュータのモデルにより異なります。マイクロドライブPCカードまたは外付けハードドライブを使うと、ハードドライブの容量を追加することもできます。

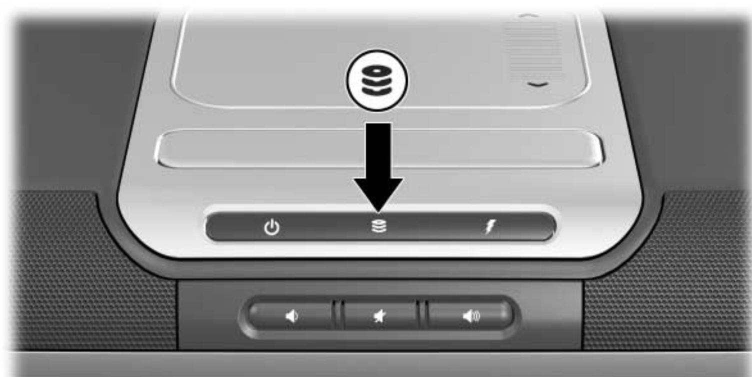
一部のノートブック コンピュータ モデルには、オプションでフロッピーディスク ドライブまたはHP USBデジタル ドライブが含まれます。HP USBデジタル ドライブは、USBコネクタまたはオプションのデジタル ベイに接続できます。

USBコネクタまたは1394コネクタに別売のディスク ドライブを接続することでも、システムにドライブを追加できます。

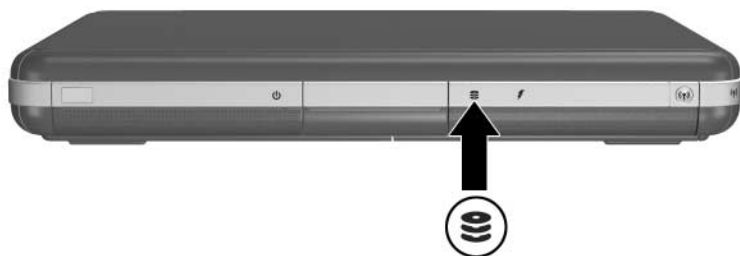
外付けデバイスの接続について詳しくは、「第6章 外付けデバイスの接続」を参照してください。PCカードについて詳しくは、「第8章 ハードウェアのアップグレード」を参照してください。

IDEドライブ ランプの使用

内蔵ハードドライブまたはオプティカル ドライブにアクセスしているときは、IDE（Integrated Drive Electronics）ランプが点灯します。このランプは、ハードドライブ/オプティカル ドライブ動作ランプとも呼ばれます。

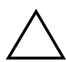


IDEドライブ ランプの位置



IDEドライブ ランプの位置

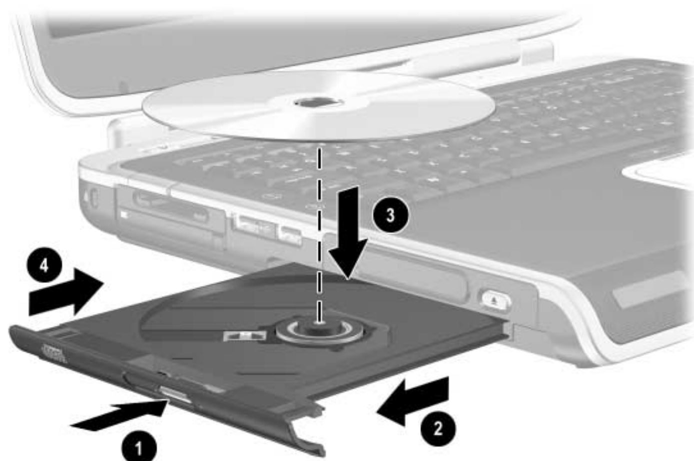
ドライブ メディアの挿入と取り出し



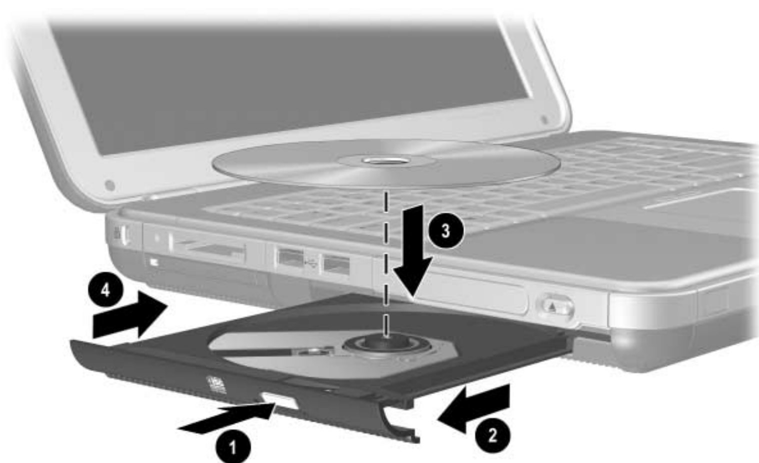
注意：再生品質の低下やオプティカル メディアの損傷を防ぐため、CDまたはDVDを停止してメディア ソフトウェアを取り出してから、オプティカル ドライブの着脱を行ってください。

CDまたはDVDの挿入

1. ノートブック コンピュータの電源を入れます。
2. ドライブのフロント パネルにあるメディア リリース ボタンを押して❶、トレイが少し押し出された状態になったら、完全に開くまでトレイをゆっくりと引き出します❷。
3. CDまたは片面DVDを、ラベル面を上にしてトレイの回転軸に置きます❸。
4. ディスクの穴付近をそっと下に押してはめ込みます。メディア トレイが完全に開かない場合は、ディスクを傾けて回転軸の上に置き、下に押してはめ込みます。ディスクを扱うときは、表面ではなく端を持ってください。
5. メディア トレイを閉じます❹。



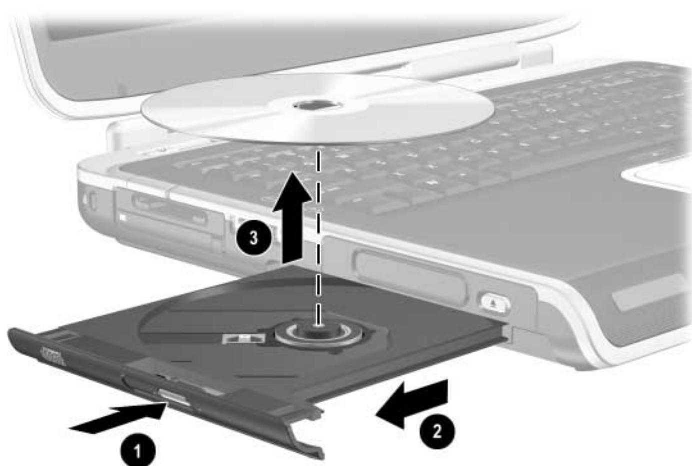
オプティカル ドライブへのCDまたはDVDの挿入



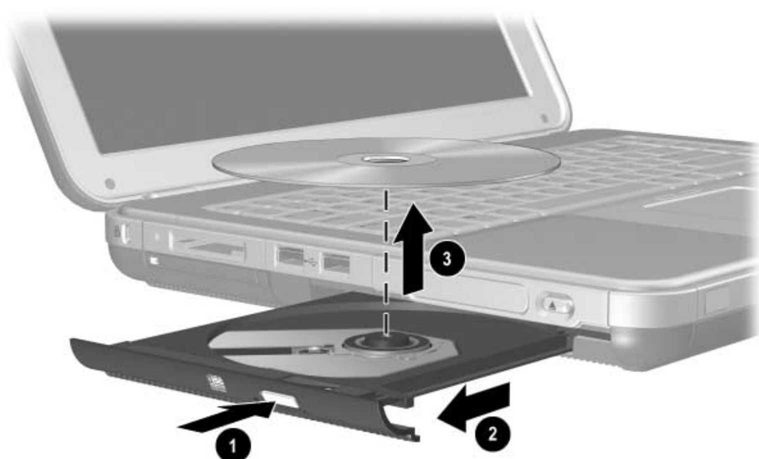
オプティカル ドライブへのCDまたはDVDの挿入

CDまたはDVDの取り出し（電源使用時）

1. ノートブック コンピュータの電源を入れます。
2. ドライブのフロント パネルにあるメディア リリース ボタンを押して❶、メディア トレイが少し押し出された状態になったら、完全に開くまでトレイをゆっくりと引き出します❷。
3. 回転軸をそっと押しながら、ディスクの端を引き上げて、トレイからディスクを取り出します❸。メディア トレイが完全に開かない場合は、ディスクを傾けて取り出します。ディスクを扱うときは、表面ではなく端を持ってください。
4. メディア トレイを閉じます❹。
5. ディスクを保護ケースに入れます。



オプティカル ドライブからのCDまたはDVDの取り出し（電源使用時）

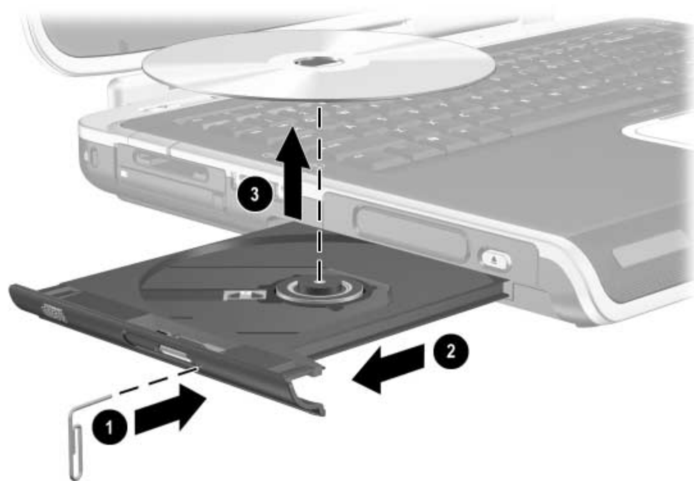


オプティカル ドライブからのCDまたはDVDの取り出し（電源使用時）

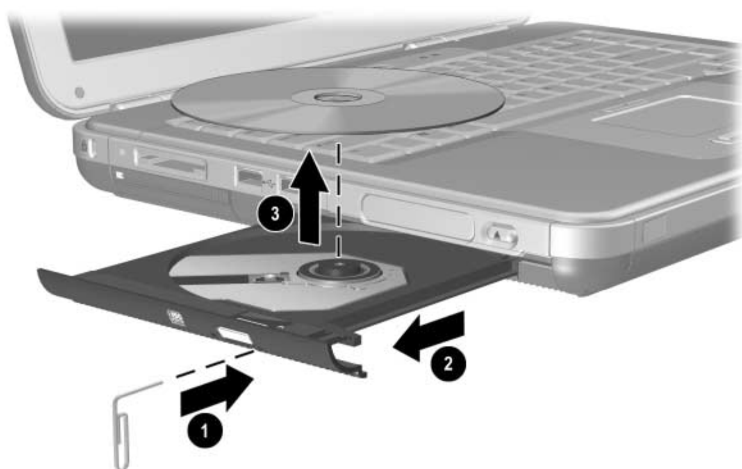
CDまたはDVDの取り出し（電源切断時）

ノートブック コンピュータの電源が切られているとき、または電源が利用できないときは、ドライブのリリース ボタンは機能しません。リリース ボタンを使用せずにオプティカル ドライブからディスクを取り出すには、以下の手順で操作します。

1. ドライブのフロント パネルにあるリリース アクセスにクリップの端を差し込みます❶。
2. クリップをそっと押して、メディア トレイが少し押し出された状態になったら、完全に開くまでトレイをゆっくりと引き出します❷。
3. トレイからディスクを取り出します❸。メディア トレイが完全に開かない場合は、ディスクを傾けて取り出します。ディスクを扱うときは、表面ではなく端を持ってください。
4. メディア トレイを閉じます。
5. ディスクを保護ケースに入れます。



オプティカル ドライブからのCDまたはDVDの取り出し（電源切断時）



オプティカル ドライブからのCDまたはDVDの取り出し（電源切断時）

フロッピーディスクの挿入（一部のモデルのみ）

フロッピーディスクをフロッピーディスク ドライブに挿入するには、ラベルのある方を上にしてディスクをドライブにゆっくりとスライドさせ、カチッと音がするまで挿入します。

フロッピーディスクが正しく挿入されると、メディア イジェクト ボタンが押し出されます。



フロッピーディスク ドライブのメディア イジェクト ボタンの位置



フロッピーディスク ドライブのメディア イジェクト ボタンの位置

フロッピーディスクの取り出し（一部のモデルのみ）

フロッピーディスク ドライブからフロッピーディスクを取り出すには、以下の手順で操作します。

1. ドライブのメディア イジェクト ボタンを押して、フロッピーディスクを押し出します。
2. フロッピーディスクをドライブからスライドさせて取り出します。
3. フロッピーディスクを保護ケースに入れます。

HP USBデジタル ドライブ（別売）の取り付け（一部のモデルのみ）

別売のHP USBデジタル ドライブは切手サイズのSD（Secure Digital）メモリ カード用のドライブで、デジタル画像、音楽、動画などのファイルやデータ ファイルを保存および移動するために使用します。HP USBデジタル ドライブはオプションのデジタル ベイまたはUSBポートに接続できます。

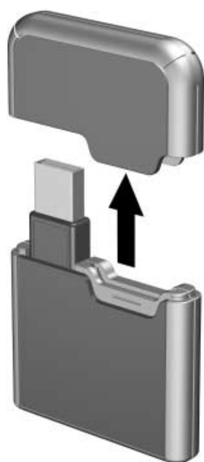
ノートブック コンピュータにHP USBデジタル ドライブを取り付ける前に、SDメモリ カードをデジタル ドライブに挿入する必要があります。SDメモリ カードが同梱されているかどうかは、コンピュータのモデルによって異なります。SDメモリ カードは、コンピュータ販売店または電化製品販売店で購入できます。



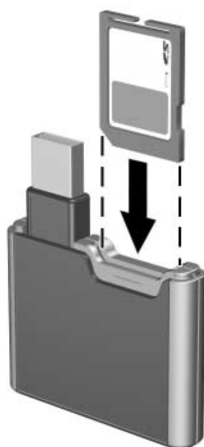
別売のSDメモリ カードの挿入

SDメモリ カードをデジタル ドライブに挿入するには、以下の手順で操作します。

1. デジタル ドライブのキャップを外します。



2. SDメモリ カードをデジタル ドライブのSDスロットに挿入します。

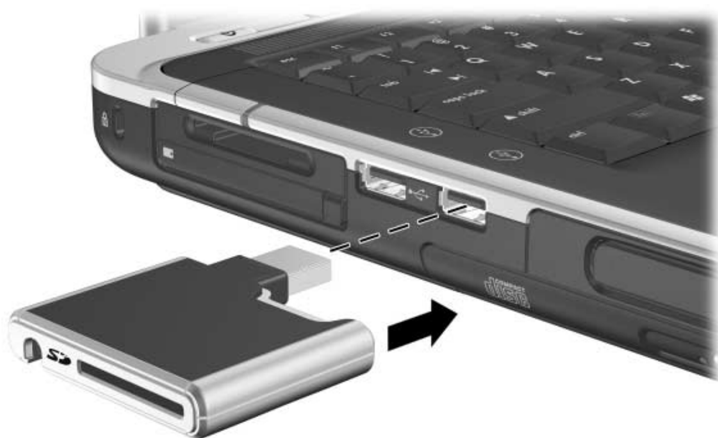


USBポートへのデジタル ドライブ（別売）の接続

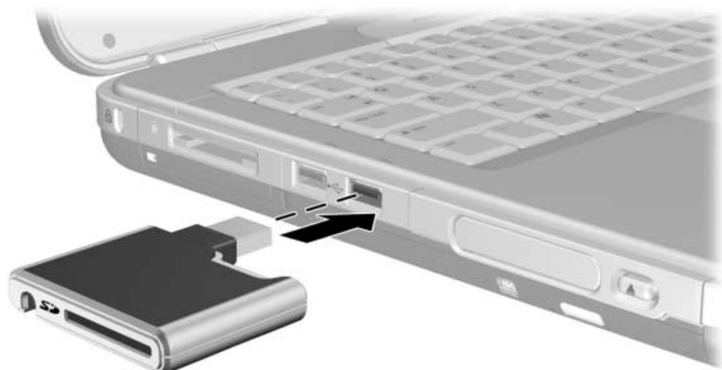
デジタル ドライブ（別売）は、USBケーブルを引き出した状態でも収納した状態でも、USBポートに接続できます。

USBケーブルを収納した状態でデジタル ドライブを接続するには、以下の手順で操作します。

1. SDメモリ カードがデジタル ドライブに挿入されていることを確認します。
2. デジタル ドライブのUSBコネクタを、ノートブック コンピュータのUSBポートに差し込みます。



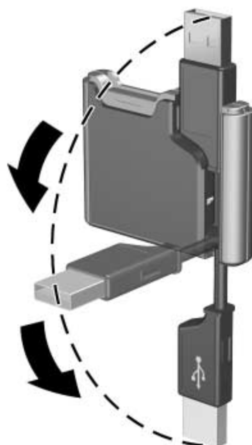
USBポートへのデジタル ドライブの接続



USBポートへのデジタル ドライブの接続

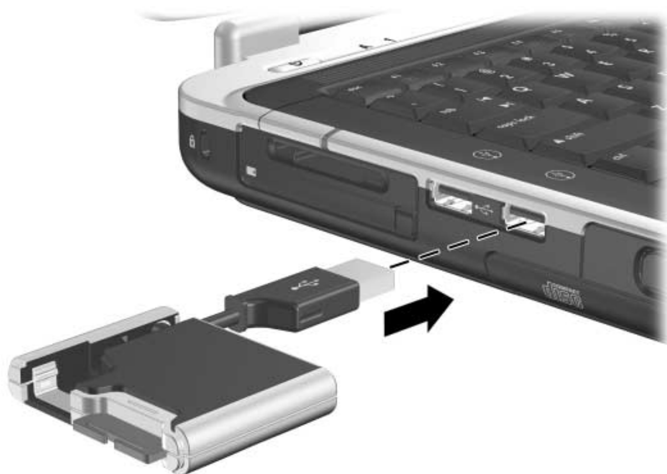
USBケーブルを引き出した状態でデジタル ドライブ（別売）を接続するには、以下の手順で操作します。

1. USBケーブルを回転させて、最後まで引き出します。

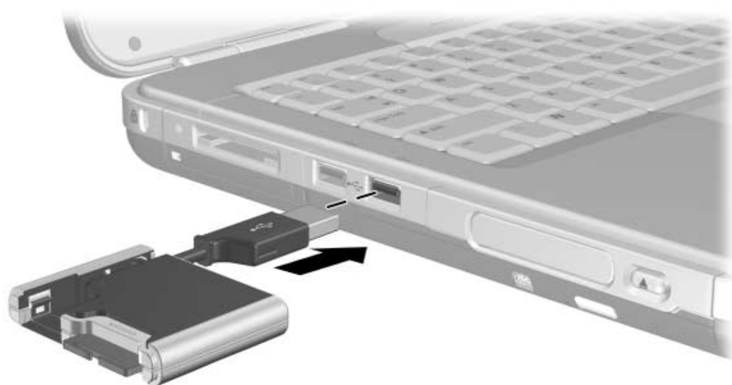


USBケーブルの引き出し

2. USBケーブルのコネクタを、ノートブック コンピュータのUSBポートに差し込みます。



USBポートへの引き出されたUSBケーブルの接続



USBポートへの引き出されたUSBケーブルの接続

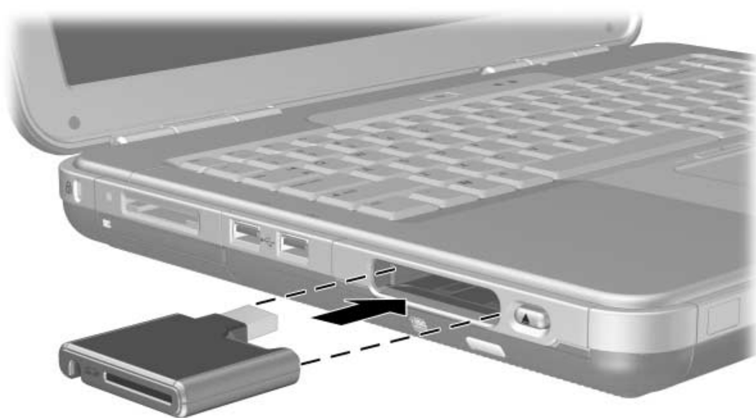
オプションのデジタル ベイへのデジタル ドライブ（別売）の挿入

デジタル ドライブ（別売）をオプションのデジタル ベイに挿入するには、以下の手順で操作します。

1. SD メモリ カードがデジタル ドライブに挿入されていることを確認します。
2. ラベル面を上にして、カチッという音がして所定の位置に収まるまで、デジタル ドライブをデジタル ベイにゆっくりと挿入します。



デジタル ベイへのデジタル ドライブの挿入

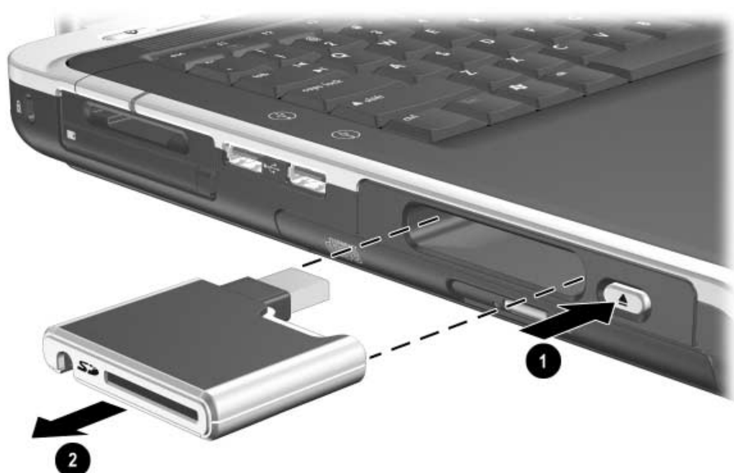


デジタル ベイへのデジタル ドライブの挿入

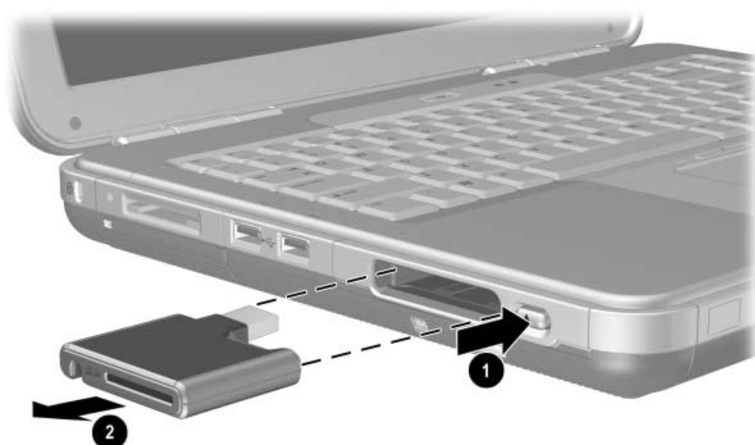
オプションのデジタル ベイからのデジタル ドライブ（別売）の取り出し

オプションのデジタル ベイからデジタル ドライブ（別売）を取り出すには、以下の手順で操作します。

1. デジタル ドライブ リリース ボタンを押して❶、デジタル ドライブを解放します。
2. デジタル ドライブをベイから取り出します❷。



デジタル ベイからのデジタル ドライブの取り出し



デジタル ベイからのデジタル ドライブの取り出し

別売のドライブ ソフトウェア情報の参照先

お使いのノートブック コンピュータには、CDおよびDVDを再生するためのソフトウェアが含まれています。詳しくは、このCDに収録されている『ソフトウェア ガイド』の「マルチメディア」を参照してください。

5

オーディオとビデオ

音量の調節

音量を調節するには、ノートブック コンピュータの音量ボタンまたはボリューム コントロール ソフトウェアを使用します。一部のアプリケーションでは、アプリケーション内から音量を調節することもできます。

音量ボタンの使用

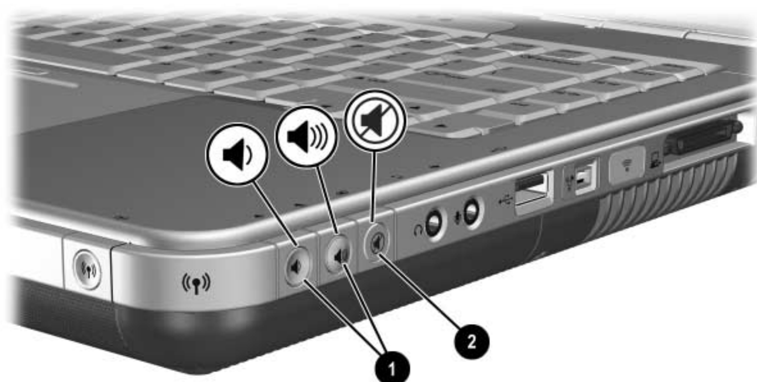
音量ボタンを使って音量を調節するには、次の操作を行います。

- 音量を下げるには、左の音量ボタン❶を押します。
- 音量を上げるには、右の音量ボタン❶を押します。
- 消音したり音量を元に戻したりするには、中央の音量ボタン❷を押します。



音量ボタンの位置

- 音量を下げるには、左の音量ボタン❶を押します。
- 音量を上げるには、中央の音量ボタン❶を押します。
- 消音したり音量を元に戻したりするには、右の音量ボタン❷を押します。

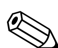


音量ボタンの位置

[ボリューム コントロール]アイコンの使用

[ボリューム コントロール]アイコンをタスクバーに表示するには、**[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[サウンド、音声、およびオーディオ デバイス]**→**[サウンドとオーディオ デバイス]**→**[音量]**の順に選択します。**[タスクバーに音量アイコンを配置する]**チェック ボックスをオンにします。

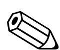
音量を調節するには、アイコンを選択します。音量を上げたり下げたりするには、スライド バーを上または下にドラッグします。消音したり音量を元に戻したりするときは、**[ミュート]**チェック ボックスをオンまたはオフにします。



タスクバーに配置したアイコンが見当たらない場合は、アイコンが隠れている可能性があります。タスクバーの矢印または太い縦線をクリックして拡大し、アイコンが表示されるようにします。

内蔵スピーカの使用

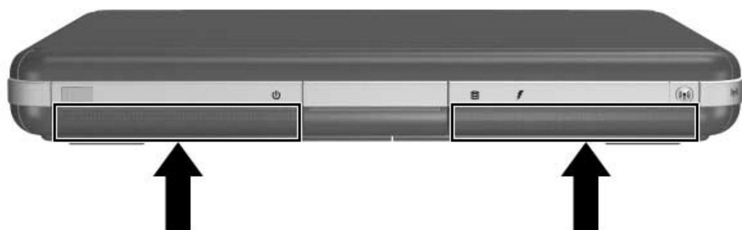
内蔵スピーカでは、アプリケーション、オペレーティング システム、ゲーム、ドライブ メディア、インターネットなどからのステレオ サウンドが再生されます。



ヘッドセットなどの外付けデバイスをオーディオ出力コネクタ(「ラインアウト」コネクタとも呼ばれます）に接続すると、内蔵スピーカは無効になります。



内蔵スピーカの位置



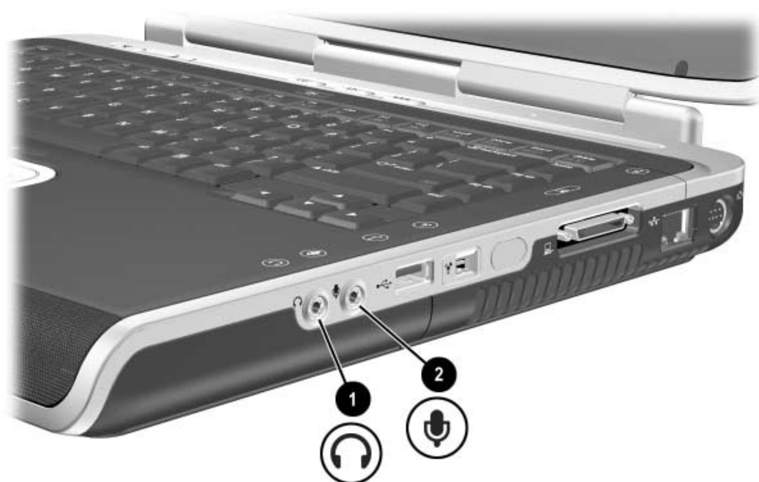
内蔵スピーカの位置

オーディオ機器の接続

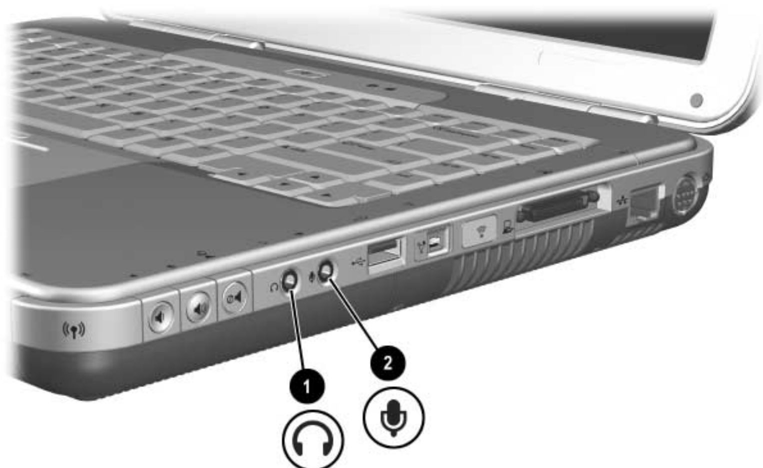
オーディオ コネクタの位置

ノートブック コンピュータには､2つのオーディオ コネクタがあります。

- オーディオ出力コネクタ❶（「ラインアウト」コネクタとも呼ばれます）には、ヘッドセット、ヘッドフォン、または外付けのステレオスピーカを接続します。オーディオ出力コネクタには、テレビやビデオデッキなどのオーディオ/ビデオ機器のオーディオ機能も接続できます。
- マイク コネクタ❷には、モノラルまたはステレオの外付けマイクを接続します。



オーディオ コネクタの位置



オーディオ コネクタの位置

マイク コネクタの使用

お使いのノートブック コンピュータには､ステレオのマイク コネクタが装備されています｡ステレオ マイクを接続して録音アプリケーション ソフトウェアを使用すると、ステレオ（デュアル チャネル）録音およびステレオ再生が可能になります。モノラル マイクを接続して録音アプリケーション ソフトウェアを使用した場合は､モノラル（シングル チャネル）録音およびステレオ再生のみが可能です。この結果、左右のチャネルから同じ音声が出力されます。

マイクをマイク コネクタに接続する場合は､3.5 mmプラグのマイクを使用してください。

オーディオ出力コネクタの使用



警告：突然大きな音が出て耳を傷めることがないように、音量の調節を行ってからヘッドフォンやヘッドセットを使用してください。



注意：外付けデバイスの損傷を防ぐため、モノラル プラグをオーディオ出力コネクタに接続しないでください。

オーディオ出力コネクタにデバイスを接続する場合、次の点に注意してください。

- 3.5 mmのステレオ プラグのみを使用してください。
- 最高の音質を得るには、24～32 Ωのヘッドフォンを使用してください。



オーディオ出力コネクタに外付けオーディオ機器を接続すると、内蔵スピーカは無効になります。

Sビデオ機器の接続

オーディオの接続

Sビデオ出力コネクタは、ビデオ信号のみをサポートします。

DVDの動画をノートブック コンピュータで再生してテレビの画面に表示するなど、オーディオ機能とビデオ機能を組み合わせた構成にする場合は、標準の3.5 mmオーディオ ケーブルが必要です。このオーディオ ケーブルは、一般の電化製品店で購入できます。

オーディオ ケーブルのステレオ側の端をノートブック コンピュータのオーディオ出力コネクタに接続します。ケーブルのもう一方の端を外付け機器のオーディオ入力コネクタに接続します。

ビデオの接続

ビデオ信号をSビデオ出力コネクタ経由で転送するには、電化製品販売店で入手可能な標準的なSビデオ ケーブルが必要です。

Sビデオ ケーブルの一方の端をノートブック コンピュータのSビデオ出力コネクタに接続します。ケーブルのもう一方の端を外付け機器の（Sビデオ出力コネクタではなく）Sビデオ入力コネクタに接続します。



Sビデオ出力コネクタの位置



Sビデオ出力コネクタの位置

ビデオ機器の有効/無効の切り替え

Sビデオ機器が有効なときは、画面に映像が表示されます。機器が無効のときは、映像は表示されません。

ビデオ機器を有効にするには、以下のうち1つの操作を行います。

■ ノートブック コンピュータを起動または再起動します。

■ 以下の手順で**[画面]**タブを表示します。

1. **[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[デスクトップの表示とテーマ]**→**[画面]**→**[設定]**の順に選択します。
2. **[詳細設定]**ボタンを選択します。
3. **[画面]**タブを選択して、テレビ表示の有効/無効を切り替えるボタンを選択します。



節電するには、機器の電源を切った後でシステムから取り外します。

カラー テレビ方式の変更

カラー テレビ方式は、テレビのビデオ信号を送受信する方法を指します。ノートブック コンピュータとテレビ間で信号を送信するときは、コンピュータとテレビの両方で同じカラー テレビ方式を使用する必要があります。

米国、カナダ、日本、および韓国では、NTSC方式が標準です。ヨーロッパ、中国、ロシア、およびアフリカでは、PAL方式が標準です。ブラジルでは、PAL-M方式が標準です。ブラジル以外の中南米諸国では、NTSC、PAL、またはPAL-M方式のどれかが使用されています。

ほとんどの場合、ノートブック コンピュータには、出荷時に地域固有の方式が設定されています。この地域設定は変更することができます。

カラー テレビ方式を変更するには、以下の手順で操作します。

1. **[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[デスクトップの表示とテーマ]**→**[画面]**→**[設定]**の順に選択します。次に、**[詳細設定]**ボタン→**[画面]**タブの順に選択します。
2. **[テレビ（T）]**ボタン→**[形式]**タブの順に選択します。
3. 形式または国/地域によってテレビ方式を選択します。
   a. 表示形式で方式を選択するには、**[形式で選択]**を選択し、リストで方式の名前を選択してから、**[OK]**ボタンを選択します。
   b. 地域または国のデフォルトの方式を選択するには、**[国/地域で選択]**を選択し、リストで国または地域を選択してから、**[OK]**ボタンを選択します。
4. 指示に従って、ノートブック コンピュータを再起動します。

6

外付けデバイスの接続

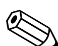
標準デバイスの接続

このガイドで説明する各コネクタおよびポートには、対応する標準の外付けデバイスを接続できます。

- 使用するコネクタまたはポートについては、デバイスに付属のマニュアルを参照してください。
- デバイスの動作に必要な、ドライバなどソフトウェアのインストールやロードについては､デバイスに付属のマニュアル､オペレーティング システムのヘルプ ファイル､または製造元のWebサイトを参照してください。

標準の外付けデバイスをノートブック コンピュータに接続するには､以下の手順で操作します。

1. 接続しようとしているデバイスが外部電力を使用する場合は、必ず電源を切ります。
2. デバイスをノートブック コンピュータの該当するコネクタに接続します。
3. 外部電力を使用するデバイスを接続している場合は、デバイスの電源コードをアース付きコンセントに差し込みます。
4. デバイスの電源を入れます。



正しく接続された外部モニタまたは他のディスプレイ デバイスに画像が表示されない場合は､[Fn]＋[F4]ホットキーを押して､画像の出力先を新しいデバイスに切り替えます。

標準の外付けデバイスをノートブック コンピュータから取り外すには、デバイスの電源を切断（外部電源を使用している場合）してからデバイスをコンピュータから取り外します。

USBデバイスの接続

USB（Universal Serial Bus）は、USBキーボード、マウス、ドライブ、プリンタ、スキャナ、ハブなどの外付けデバイスをノートブック コンピュータに接続して使用できるハードウェアのインタフェースです。ハブはデバイスを接続するためのデバイスで、外部電源を使用するものと使用しないものがあります。

別売のUSBハブは、ノートブック コンピュータ本体や別売のHPノートブック拡張ベースのUSBコネクタ、または他のUSBデバイスに接続できます。ハブは複数のUSBデバイスをサポートできます。

- 外部電力を使用するハブの場合、外部電力に接続する必要があります。
- 外部電力を使用しないハブの場合、ノートブック コンピュータ本体のUSBコネクタまたは外部電力を使用するハブのポートに接続する必要があります。

USBコネクタは、USB 2.0以前のバージョンのデバイスをサポートします。

USBデバイスには、追加サポート ソフトウェアを必要とするものがありますが、通常はデバイスに付属しています。追加サポート ソフトウェアの詳細およびインストール方法については、デバイスに付属のマニュアルを参照してください。



USBコネクタの位置（左側面に2つ、右側面に1つ）



USBコネクタの位置（左側面に2つ、右側面に1つ）

USBデバイスの使用

USBデバイスは、対応するUSB以外のデバイスと同様に機能します。ただし例外として、デフォルトでは、USBをサポートするオペレーティング システムがロードされるまで、USBデバイスは動作しません。USBをサポートするオペレーティング システムは、Windows XP HomeおよびWindows XP Professionalです。

ノートブック コンピュータのUSBコネクタに接続されたUSBキーボードまたはハブを、起動中（Windowsがロードする前）またはWindows以外のアプリケーションやユーティリティで使用するには、USBレガシーサポートを有効にします。

赤外線装置への接続（一部のモデルのみ）

一部のノートブック コンピュータ モデルはIrDAに準拠しており、IrDAに準拠した他の赤外線装置との通信が可能です。IrDAの標準的な通信速度は、4 MB/秒（Mbps）です。

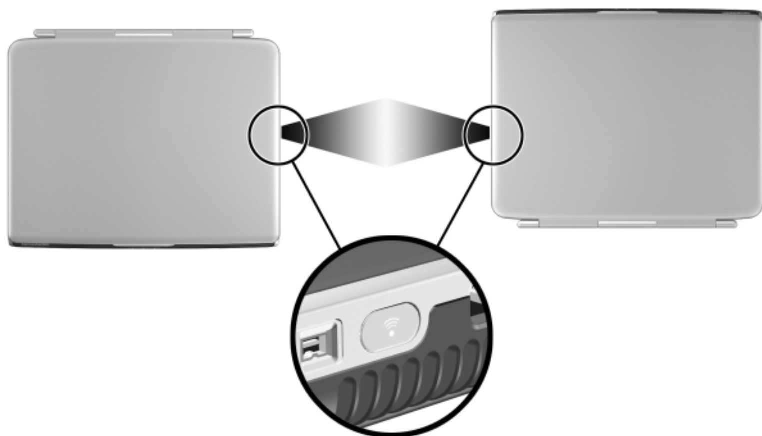
赤外線ポートは、最大115 Kbpsまでの低速通信および4 Mbpsまでの高速通信をサポートします。

赤外線通信のパフォーマンスは、以下の項目により異なります。

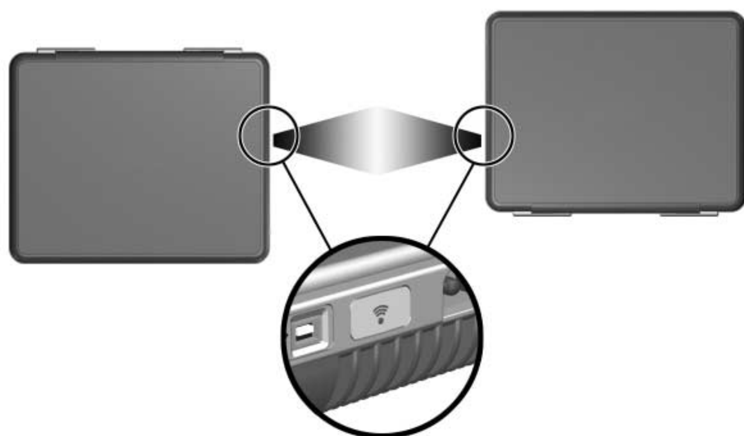
■ 接続する装置の性能
■ 装置間の距離と角度
■ 使用しているソフトウェア アプリケーション
■ 装置間の障害物



赤外線信号は目に見えない赤外線ビームを介して通信されるので、赤外線装置間に障害物を置かないでください。



赤外線装置への接続



赤外線装置への接続

赤外線転送の設定

赤外線ソフトウェアの使用方法については、オペレーティング システムのヘルプ ファイルを参照してください。

赤外線装置の転送を最適化するには、以下の点に従います。

- 両方の装置の赤外線ポートを、転送可能な状態にします。

 ノートブック コンピュータの電源が入っているときは、コンピュータの赤外線ポートが完全に有効な状態です。

- 赤外線ポートが 1 メートル以内の距離で向かい合うように装置を設置します。
- 接続しようとしている装置の赤外線ポートから相手のポートへの方向の角度が30°以上（中心線から±15°）ずれないようにします。
- 直射日光やフラッシュ、蛍光灯などが直接赤外線ポートにあたらないようにします。
- 携帯電話、ヘッドフォン、オーディオ機器などの他の無線デバイスやリモコンを赤外線ポートに向けないようにします。
- データ転送中にデバイスを動かしたり、ビームをさえぎるような物を置いたり、動作を行ったりしないようにします。

赤外線ポート使用中のスタンバイの防止

ノートブック コンピュータがスタンバイ状態の場合は、赤外線転送は開始できません。

赤外線転送中にスタンバイを起動すると、転送は停止します。スタンバイから復帰するには、電源ボタンを短く押します。ノートブック コンピュータがスタンバイから復帰すると、転送が再開されることがあります。転送が再開されない場合は、コンピュータを再起動してください。

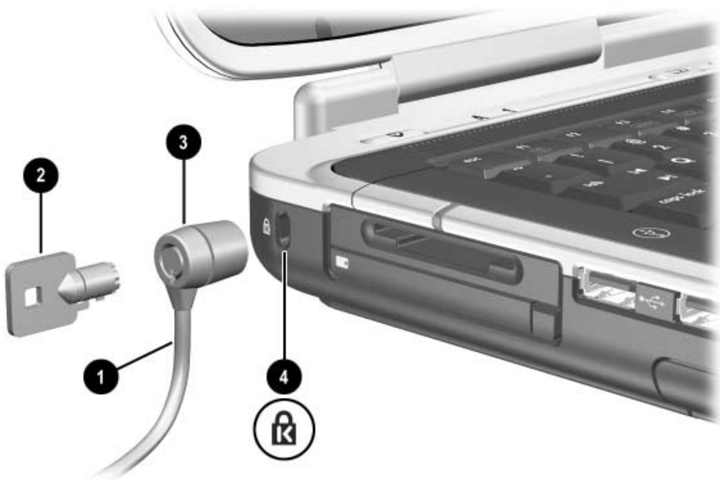
別売のケーブル ロックの接続



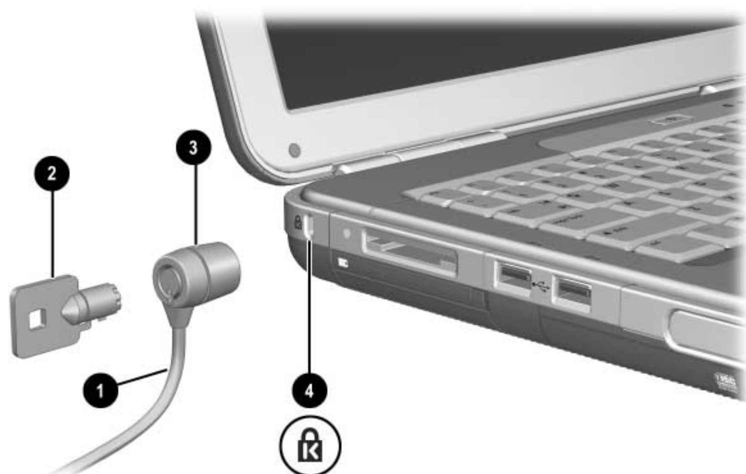
セキュリティ機能は、誤った取り扱いに対処することを目的としていますが、ノートブック コンピュータの盗難や誤った取り扱いを完全に防ぐものではありません。

セキュリティ ケーブル ロックを取り付けるには､以下の手順で操作します。

1. 安定した固定物にセキュリティ ケーブル❶を巻き付けます。
2. 鍵❷をケーブル ロック❸に差し込みます。
3. 鍵が差し込まれたケーブル ロックを､ノートブック コンピュータのセキュリティ ロック ケーブル用スロット❹に差し込みます。
4. 鍵を反時計回りに回転させて取り外します。



セキュリティ ケーブル ロックの接続



セキュリティ ケーブル ロックの接続

ノートブック コンピュータのその他のセキュリティ機能について詳しくは、このCDに収録されている『ソフトウェア ガイド』の「セキュリティ」を参照してください。

7

モデムとネットワーク接続

モデムの使用（一部のモデルのみ）

一部のノートブック コンピュータ モデルには、RJ-11 コネクタ、モデム ケーブル、V.92 モデムなどが装備されています。電話回線にモデムを接続すれば、世界中の相手と通信できます。インターネットを閲覧したり、電子メール メッセージを送受信したり、コンピュータを使用してFAXを送受信したりすることが可能になります。コンピュータにはモデムと連携するいくつかのソフトウェア プログラムがあります。

- インターネット閲覧用のInternet Explorer
- 電子メール メッセージ送受信用のOutlook Express
- FAX送受信用のWindows FAXコンソール

最高のパフォーマンスを得るため、V.90 または V.92 相互運用可能なモデムを使用したどのインターネット サービス プロバイダ（ISP）またはモデム ネットワークにも接続することができます。V.90 または V.92 をサポートする電話番号の一覧については、ISP にお問い合わせください。V.92ではモデムの保留技術を使用できます。インターネット セッションに割り込んで電話の呼び出しに応答し、通話終了後にインターネット セッションを再開することができます。



警告：火災や感電、火災、装置の損傷を防ぐため、電話線をRJ-45 ネットワーク コネクタに接続しないでください。



警告：ノートブック コンピュータをデジタル回線に接続すると、モデムが損傷して永久に使用できなくなる場合があります。間違ってデジタル回線に接続した場合は、すぐに取り外してください。



注意：お使いの内蔵モデムは複数の電話回線や構内回線（PBX）に対応していない場合があります。また、公衆（コイン）電話には接続できず、共同加入回線では動作しません。こうした接続を行うと電圧がかかりすぎ、内蔵モデムが誤動作する恐れがあります。電話回線に接続する前に電話回線の種類を確認してください。



注意：デジタル構内回線（PBX）システムのコネクタはRJ-11コネクタと似ていますが、このモデムには使用できません。

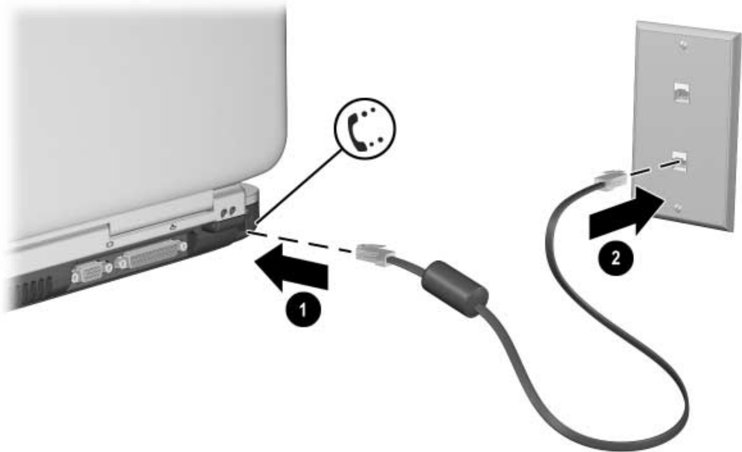
モデムは必ずアナログ電話回線に接続してください。

モデムは14.4 Kbpsより高速でのダウンロードに対応できますが、FAXの最高通信速度は14.4 Kbpsです。

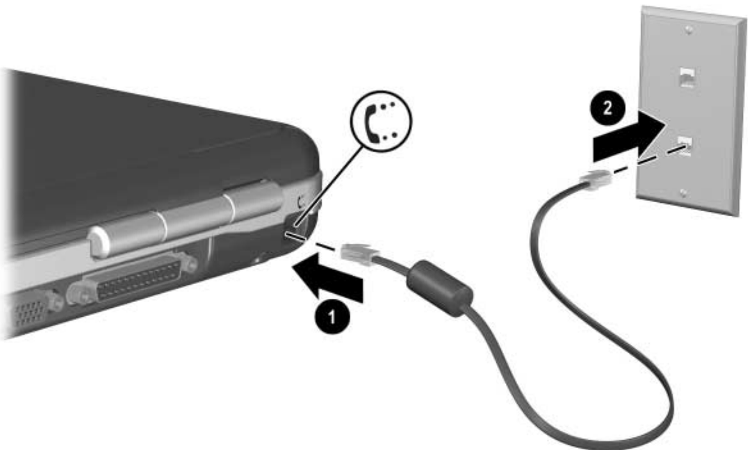
モデムの接続と設定について詳しくは、このCDに収録されている『モデムおよびネットワーク接続ガイド』を参照してください。

RJ-11コネクタへのモデムの接続

以下のどちらかの図を参照して、RJ-11モデム ケーブルを接続します。



RJ-11モデム ケーブルの接続



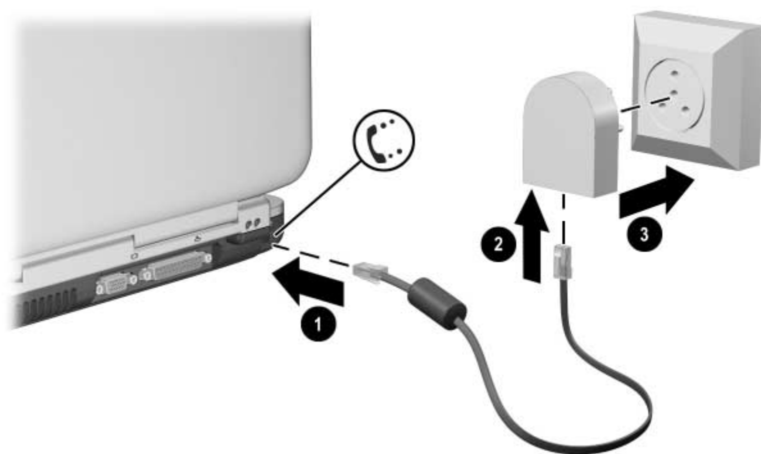
RJ-11モデム ケーブルの接続

アダプタを使用したモデムの接続

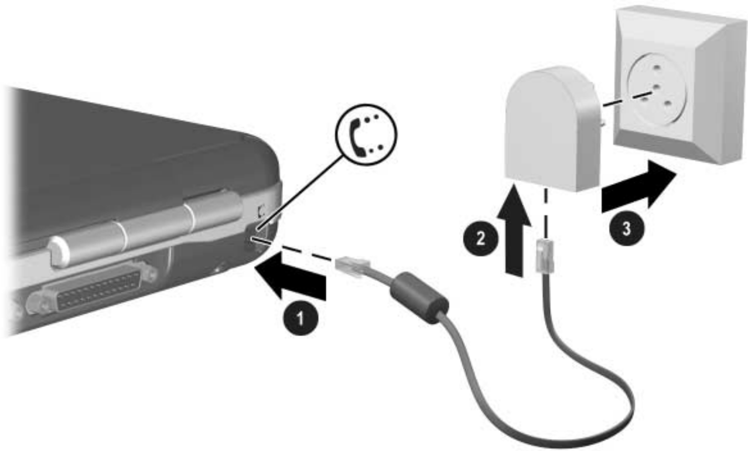
モジュラ コンセントは国により異なります。モデムおよびRJ-11回線用ケーブルを国外で使用する場合は、各国仕様のモデムアダプタを用意する必要があります。国外でノートブック コンピュータを使用する方法について詳しくは、このCDに収録されている『モデムおよびネットワーク接続ガイド』を参照してください。

RJ-11コネクタ以外のアナログ電話回線用モジュラ コンセントにケーブルを接続する場合は、以下の手順で操作します。

1. モデム ケーブルをノートブック コンピュータ本体のRJ-11コネクタに差し込みます❶。
2. モデム ケーブルを各国仕様のモデム アダプタに接続します❷。
3. 各国仕様のモデム アダプタを電話回線用モジュラ コンセントに接続します❸。



各国仕様のモデム アダプタを使用したモデムの接続



各国仕様のモデム アダプタを使用したモデムの接続

特定の国における特別な制限

- 多くの国では、モデムが何回かサービス プロバイダへの接続に失敗した後に、ブラックアウト期間を設けています。失敗の回数および再試行までの待機時間は、国によって異なります。契約している電話会社に確認してください。
- モデムを使用する場合、外付けのサージ プロテクタによって、雷などのサージによるノートブック コンピュータの損傷を防ぐことができます。モデムを使用する場合は必ず、承認されたサージ プロテクタをモデム ケーブルに接続してください。

モデムの設定の変更

モデムはすでにほとんどの地域の電話システムおよびモデムに対応できるように設定されています。しかし、地域の状況に合わせてモデムを変更する必要があることもあります。地域の要件に関しては、契約している電話会社にお問い合わせください。



注意： 日本でお買い上げいただいた日本語モデルのノートブック コンピュータの内蔵モデムは、日本国内の通信規格に適合するように設定されています。このモデムを日本国内で使用する場合は、必ずこのまま日本用の設定でお使いください。日本以外の国用の設定で使用すると、電気通信事業法（技術基準）に違反する行為となります。

次のどれかの方法で、モデムの設定を変更します。

- **コントロール パネル**：**[コントロール パネル]**の**[電話とモデムのオプション]**を開いて、モデムの設定を変更できます。**[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[ネットワークとインターネット接続]**の順に選択して、左側のパネルから**[電話とモデムのオプション]**を選択します。**[モデム]**タブの**[プロパティ]**を選択して接続速度を設定するか、または**[ダイヤル情報]**タブの**[編集]**を選択して、ダイヤルのオプションを設定します。
- **通信ソフトウェア**：多くの通信アプリケーションにはモデムの設定を制御するためのオプションがあります。お使いのソフトウェアのヘルプを参照してください。
- **ATコマンド**：モデムのATコマンドを使用して、モデムの一部の動作を制御できます。ATコマンドは、特定の状況を設定するためにモデムに送られる特殊な文字列です。これらのコマンドの文字列は通常「AT」から始まります。

  [コントロール パネル]の**[電話とモデムのオプション]**を開くには、**[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[ネットワークとインターネット接続]**の順に選択して、左側のパネルから**[電話とモデムのオプション]**を選択します。**[モデム]**タブから**[プロパティ]**を選択します。**[詳細設定]**タブのスペースに特別な設定を行うATコマンドを入力できます。

ローカル エリア ネットワーク（LAN）への接続

お使いのノートブック コンピュータにはRJ-45ネットワーク コネクタが付いており、10BASE-T/100BASE-TXイーサネット回路が装備されています。お使いのコンピュータでは、10BASE-Tネットワーク接続時には最高10 Mbps、100BASE-TXネットワーク接続時には最高100 Mbpsのネットワーク速度がサポートされます。ネットワーク ケーブルはコンピュータに付属していませんが、一般の電化製品店で購入できます。

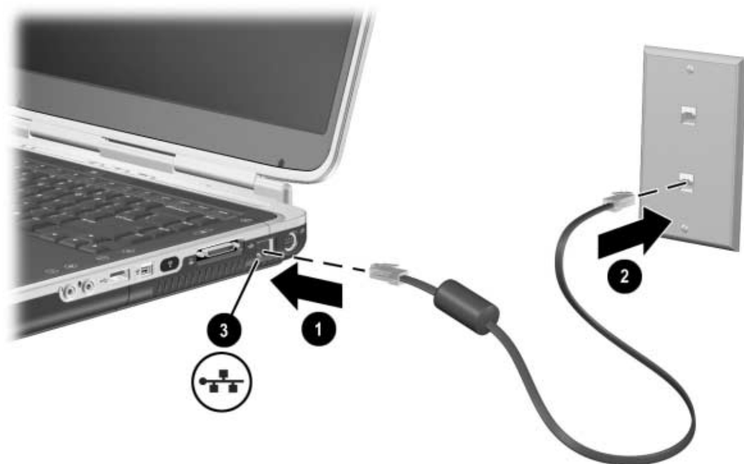
LANに接続して、社内ネットワーク上のプリンタやファイル サーバなどの共有ネットワーク リソースの他、通常はインターネットにもアクセスできます。

LANに接続するには、以下の手順で操作します。

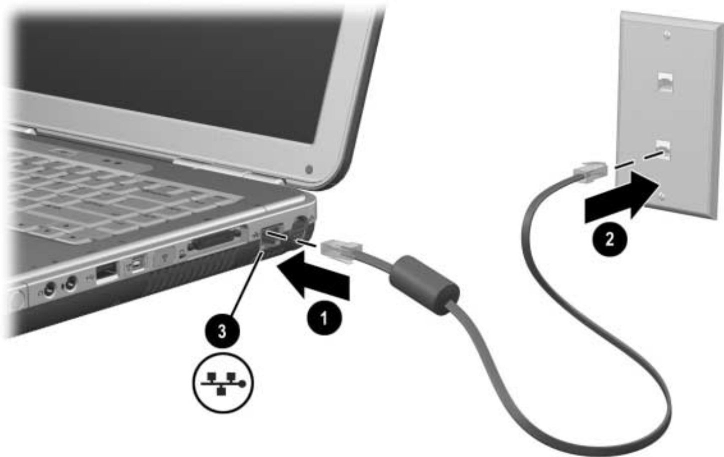
1. 既存のLANで10BASE-T/100BASE-TXイーサネット接続がサポートされていることを確認します。
2. 別途購入したネットワーク ケーブルをノートブック コンピュータのRJ-45コネクタに接続します❶。
3. ケーブルのもう一方の端をネットワーク コネクタに差し込みます❷。
4. Windowsによって自動的にLAN接続が検出され、設定されます。設定を変更するには、**[コントロール パネル]**の**[ネットワークとインターネット接続]**を開きます。

RJ-45コネクタ❸の2つのランプに接続の状態が示されます。

- 黄色のランプはネットワーク動作を示しています。
- 緑色のランプはリンクが存在することを示しています。



RJ-45ネットワーク ケーブルの接続



RJ-45ネットワーク ケーブルの接続

LAN接続の設定と使用方法については、**[スタート]**→**[ヘルプとサポート]**の順に選択してWidnowsのヘルプを参照してください。ネットワークについてはネットワーク管理者に問い合わせてください。

ネットワーク接続のオフ/オンの切り替え

節電するには、使用していないネットワーク接続を切断します。

- ネットワーク接続をオフにするには、ネットワークからログオフした後にネットワーク ケーブルを取り外します。
- ネットワーク接続をオンにするには、ネットワーク ケーブルを差し込んでから、ネットワークにログオンします。

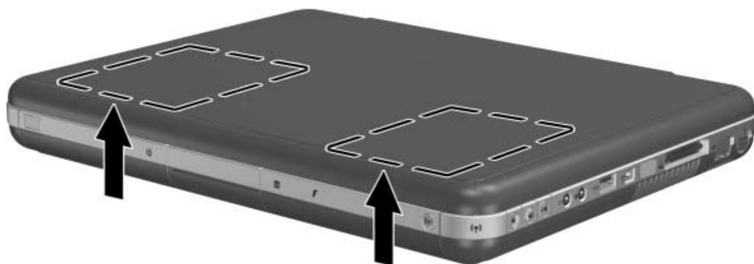
無線ネットワーク接続の作成（一部のモデルのみ）

一部のノートブック コンピュータ モデルには無線ネットワーク デバイスが搭載されており、無線信号によって802.11a、802.11b、または802.11g無線ローカル エリア ネットワーク（WLAN）に接続でき、これによってネットワーク上のコンピュータや他のリソースにアクセスできます（一部の国では利用できません）。

無線ネットワークでは、一般的な「有線」ネットワークのすべての機能を使用できるほか、「ローミング」もできます。ローミングするには、ノートブック コンピュータをケーブルではなく無線によってネットワークに接続する必要があります。この接続により、オフィスから会議室など、ネットワーク内の場所をあちこちに移動しても、常にネットワーク接続を維持できます。



無線アンテナの位置



無線アンテナの位置



警告：無線周波放射を浴びる場合

電波産業会（ARIB、http://www.arib.or.jp）の電波防護標準規格（RCR STD-38）によれば、人体に許容できる電力密度は、2.4 GHz帯で、1 mW/cm^{2}とされています。弊社の無線LAN製品では、ノートブック コンピュータのディスプレイを閉じた場合を含めて、アンテナから20 cm離れた場所で約0.0063 mW/cm^{2}程度で、問題のないレベルとなっています。

無線通信の有効/無効の切り替え

無線通信を使用するデバイスには、無線ネットワークや携帯電話モデムなどがあります。飛行機での移動など、特定の状況や環境において、一部のデバイスの使用が制限されることがあります。この装置の使用制限に関する方針が不明な場合は、ノートブック コンピュータの無線ネットワークを有効にする前に、使用制限区域内の責任者の承諾を得てください。

イタリアやシンガポールなど一部の国では、無線機能を使用する前にライセンスの購入が必要な場合があります。

無線802.11a、802.11b、または802.11g機能を有効にするには、無線オン/オフ ボタンを押します。このボタンによって、オプションのBluetooth® 無線機能を有効にすることもできます。ただし、無線オン/オフ ボタンを押しても無線接続は作成されません。無線接続を確立するには、ハードウェアやソフトウェアを追加する必要がある場合があります。

無線機能が有効になると、無線オン/オフ ボタン上または前面右隅の無線インジケータ ランプが点灯します。ランプの位置はモデルによって異なります。

ノートブック コンピュータをスタンバイやハイバネーション状態にしても、またはシャット ダウンしても、無線機能が無効になります。



無線オン/オフ ボタンを押す



無線オン/オフ ボタンを押す

無線ネットワークへの接続

ローカル エリア ネットワークにアクセスできるアクセス ポイントに接続するか、または「アドホック」ネットワーク内の他のコンピュータに直接接続できます。

ノートブック コンピュータから既存の802.11a、802.11b、または802.11g無線ネットワークに接続する前に、コンピュータを設定する必要があります。無線ネットワーク用にコンピュータを設定する方法について詳しくは、Windowsの**[ヘルプとサポート センター]**を開き、検索トピックに「無線」と入力します。これによって、無線デバイスの設定に関する概要、チュートリアル、資料、および手順が表示されます。

無線接続の状態を確認するには、次の操作を行います。

» **[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[ネットワークとインターネット接続]**の順に選択して、接続を選択します。

無線接続状態の確認

無線ネットワークの領域内であれば、ノートブック コンピュータは自動的にネットワークに接続します。

無線接続の状態を確認するには、次の操作を行います。

» **[コントロール パネル]**の**[ネットワークとインターネット接続]**を開いて、接続を選択します。

Bluetooth無線接続の作成（一部のモデルのみ）

ノートブック コンピュータにBluetooth無線機能が搭載されている場合は、それを使用して、無線パーソナル エリア ネットワーク（PAN）への短距離無線接続を作成し、他のコンピュータ、携帯電話、プリンタなど、他のBluetooth対応デバイスに接続できます。

ノートブック コンピュータでBluetooth無線ネットワークを使用する方法について詳しくは、コンピュータに付属のBluetooth関連のCDを参照してください。このCDでは、Bluetooth無線デバイスの設定と使用に関する概要と手順を説明しています。

8

ハードウェアのアップグレード

アップグレードの取得

ハードウェアのアップグレードやアクセサリの詳細および注文方法については、HPのWebサイト（http://www.hp.com/jp/support）を参照してください。

お使いの製品のサポート電話番号については、製品に付属の『保証規定』を参照してください。日本以外の国や地域については、『Worldwide Telephone Numbers』（冊子として付属またはPDFファイルとしてCDに収録されています）を参照してください。

互換性のあるハードウェアのアップグレードについての情報は、ノートブック コンピュータのオンラインの[ヘルプとサポート センター]からもアクセスできます。[ヘルプとサポート センター]ウィンドウを開くには、[Fn]＋[F1]ホットキーを押します。



警告：使用が許可されていないミニPCIデバイスを取り付けるとコンピュータが正しく動作せず、警告メッセージが表示されることがあります。コンピュータを正しく動作させるには、使用が許可されていないデバイスを取り外してください。お使いのミニPCIデバイスに関する警告メッセージが表示された場合は、HPのサポート窓口までご連絡ください。

PCカードの使用

別売のPCカードは、クレジットカードと同じくらいの大きさの装置で、PCMCIA（Personal Computer Memory Card International Association）の標準仕様に準拠しています。このノートブック コンピュータは、モデルにより32ビット（CardBus）または16ビットのPCカードをサポートします。

PCカードを使用すると、モデム、音声、メモリ、記憶装置、およびデジタル カメラの各機能をノートブック コンピュータに追加できます。PCスマート カード リーダーおよびバイオメトリック識別PCカードを使用すると、セキュリティ機能を追加できます。

PCカードの選択

使用できるPCカードの種類（Type IまたはType II）は、ノートブック コンピュータ モデルにより異なります。ズーム ビデオ用PCカードはサポートされていません。

PCカードの設定



注意： このPC カード ソフトウェアを他社製の任意のソフトウェアまたはイネーブラで上書きしてしまった場合、他のPCカードが正常に動作しなくなる場合があります。PCカードに付属のマニュアルに専用のデバイス ドライバをインストールするように記載されている場合は、次のようにします。

■ PCカードの製造販売元が他のソフトウェア（カード サービス、ソケット サービス、イネーブラなど）を提供していても、それらをインストールしないでください。

■ お使いのオペレーティング システム用のデバイス ドライバだけをインストールしてください。

PCカードの挿入



注意：PCカード スロットにPCカードを挿入するときには、PCカード コネクタの損傷を防ぐため、無理な力を加えないでください。

1. PCカードのラベル側を上にし、コネクタをノートブック コンピュータ側に向けて持ちます。
2. カードがしっかりはまるまで、PCカード スロットに静かにスライドさせて挿入します。



PCカードの挿入



PCカードの挿入

PCカードの停止と取り出し



注意：データの損失やシステムが反応しなくなることを防ぐために、PCカードを取り出す前にPCカードを停止してください。

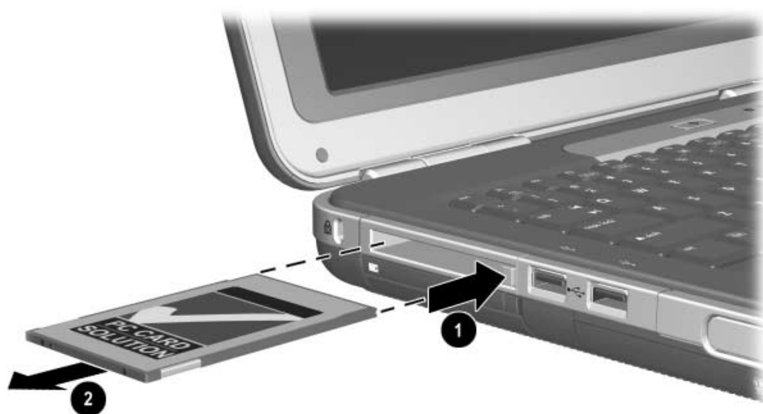


PCカードを使用していない場合でも、停止することで節電できます。

1. PCカードを停止するには、タスクバーの**[ハードウェアの安全な取り外し]**アイコンを選択して、停止するPCカードを選択する必要がある場合がます。**[ハードウェアの安全な取り外し]**アイコンを表示させるには、タスクバーの**[隠れているインジケータを表示します]**アイコンを選択します。
2. 取り出すPCカードに対応したスロットのイジェクト ボタンを押します❶。
3. PCカードを持ち、ゆっくりとスライドさせて取り出します❷。



PCカードの取り出し



PCカードの取り出し

デジタル メディア カードの使用（一部のモデルのみ）

別売のデジタル メディア カードは、データを格納してそれをPDA、カメラ、その他のメモリ カード対応のPCなどのデバイス間で共有することができる記憶装置です。

5-in-1デジタル メディア スロットでは、以下のデジタル メディアのフォーマットがサポートされます。

- Secure Digital（SD）
- マルチメディア カード
- メモリ スティック
- メモリ スティックPRO
- SmartMedia（スマートメディア）

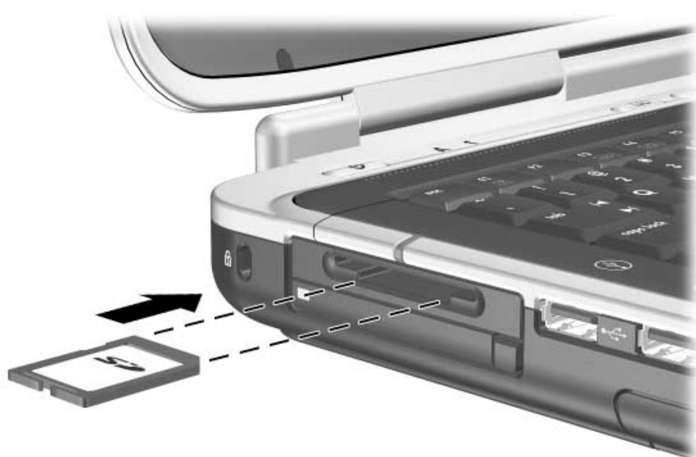
デジタル メディア カード（別売）の挿入



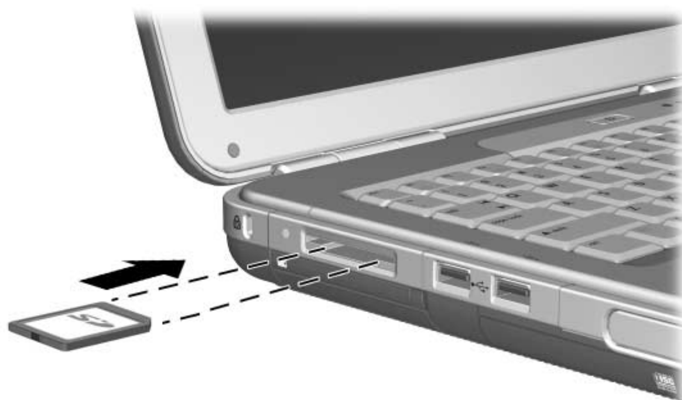
注意：デジタル メディア スロットにデジタル メディア カードを挿入するときには、デジタル メディア カード コネクタの損傷を防ぐため、無理な力を加えないでください。

デジタル メディア カードを挿入するには、以下の手順で操作します。

1. デジタル メディア カードのラベル側を上にし、コネクタをノートブック コンピュータ側に向けて持ちます。
2. メディア カードがしっかりはまるまで、デジタル メディア スロットに静かにスライドさせて挿入します。



デジタル メディア カードの挿入



デジタル メディア カードの挿入

デジタル メディア カード（別売）の取り出し



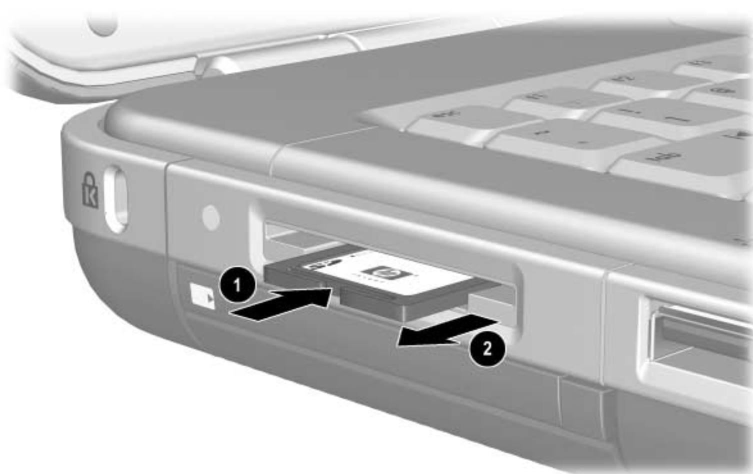
注意：データの損失やシステムのロックを防ぐために、デジタル メディア カードを取り出す前に、カードを停止します。

別売のデジタル メディア カードを取り出すには、以下の手順で操作します。

1. カードを使用しているすべてのファイルおよびアプリケーションを閉じて、カードを停止します（データ転送を終了するには、オペレーティング システムの**[コピーしています]**ウィンドウの**[キャンセル]**ボタンを選択します）。
2. メディア カードを奥まで押し込んで、手を離します❶。メディア カードが押し出されます。
3. メディア カードをスロットからスライドさせて取り出します❷。



デジタル メディア カードの取り出し



デジタル メディア カードの取り出し

デジタル メディア カード（別売）を無効にする方法

デジタル メディア カードがデジタル メディア スロットに挿入されているときは、カードを使用していない場合でも電力が消費されます。カードを無効に設定することで節電できます。メディア カードを無効に設定するには、次の操作を行います。

» **[スタート]**→**[マイ コンピュータ]**の順に選択し、カードに割り当てられているドライブを右クリックして、次に**[取り出し]**を選択します（カードは停止しますが、デジタル メディア スロットには装着されたままです）。

メモリの増設

別売のHP専用メモリ モジュールを使用して、ノートブック コンピュータのメモリを増設することができます。

お使いのノートブック コンピュータには2基のメモリ スロットが装備されており、そのうち1基には別売の128 MB、256 MB、512 MB、または1024 MBのメモリ モジュールを増設できます。

ノートブック コンピュータ モデルによっては、空のメモリ スロットがある状態で出荷されます。その他のモデルにはメモリ モジュールが装備されていますが、いつでも交換することができます。

メモリ情報の表示

RAMを増設すると、ハイバネーション ファイル用のハードドライブ領域もオペレーティング システムによって拡張されます。

RAMの増設後にハイバネーションで問題が発生した場合は、ハイバネーション ファイルの拡張に必要な空き領域がハードドライブにあるかどうかを確認してください。

■ システムに搭載されたRAMの容量を表示するには、以下の操作を行います。

  [スタート]→**[コントロール パネル]**→**[パフォーマンスとメンテナンス]**→**[システム]**→**[全般]**の順に選択します。

■ ハードドライブの空き領域とハイバネーション　ファイル用に必要な領域の両方を表示するには、以下の操作を行います。

  [スタート]→**[コントロール パネル]**→**[パフォーマンスとメンテナンス]**→**[電源オプション]**→**[休止状態]**の順に選択します。

メモリ モジュールの着脱



警告：感電を防ぐため、メモリ モジュールを着脱するときは、メモリ コンパートメントに対してのみ作業を行ってください。ユーザが取り扱うことができるノートブック コンピュータの内部コンパートメントは、ハードドライブ ベイとメモリ コンパートメントだけです。その他のコンパートメントに対して作業を行う必要がある場合は、必ずHPのサポート窓口にお問い合わせください。



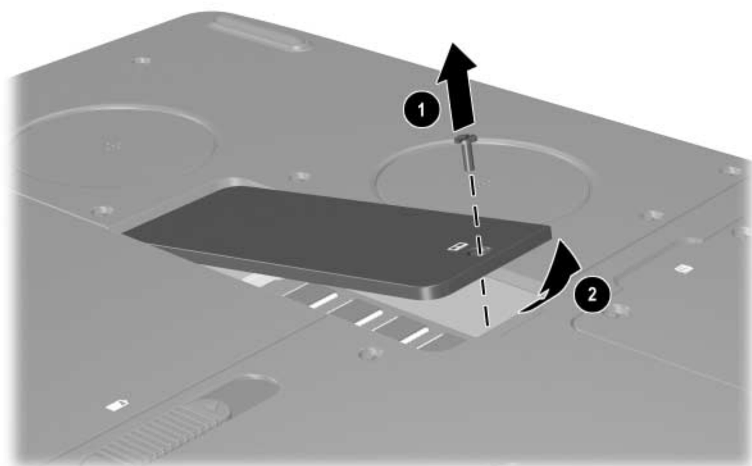
警告：感電やノートブック コンピュータの損傷を防ぐため、ンピュータをシャットダウンし、電源コードとすべてのバッテリ パックをコンピュータから取り外してからメモリ モジュールを取り付けてください。



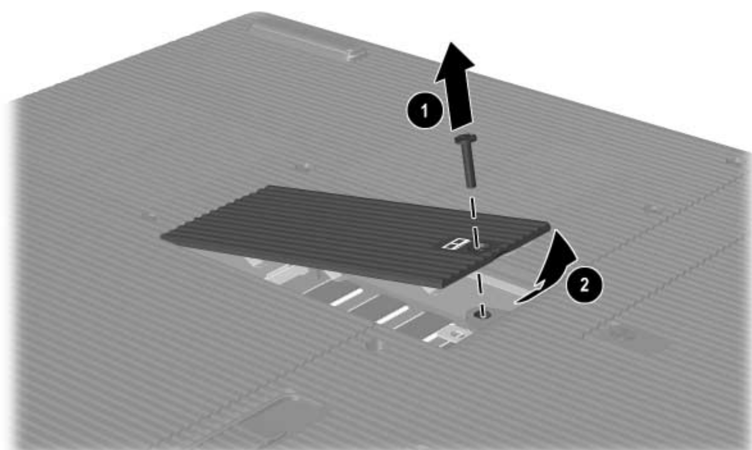
注意：静電気によって電子部品が損傷することを防ぐため、この作業を始める前に、正しくアースして衣類などにたまった静電気を放電してください。静電気対策について詳しくは、このCDに収録されている『規定および安全に関するご注意』を参照してください。

1. 必要に応じてデータを保存して、ノートブック コンピュータの電源を切ります。お使いのコンピュータの電源が切れているかまたはハイバネーション状態かわからない場合は、電源ボタンを短く押します。作業中の情報が画面に表示されたら、データを保存し、すべてのアプリケーションを終了してからコンピュータの電源を切ります。
2. ノートブック コンピュータに接続されているすべての外付けデバイスを取り外します。
3. 電源コードを外します。
4. バッテリ パックを取り外します。

5. ノートブック コンピュータを裏返します。
6. メモリ コンパートメント カバーを固定しているネジを緩め❶、カバーを持ち上げて取り外します❷。



メモリ コンパートメント カバーを開く



メモリ コンパートメント カバーを開く

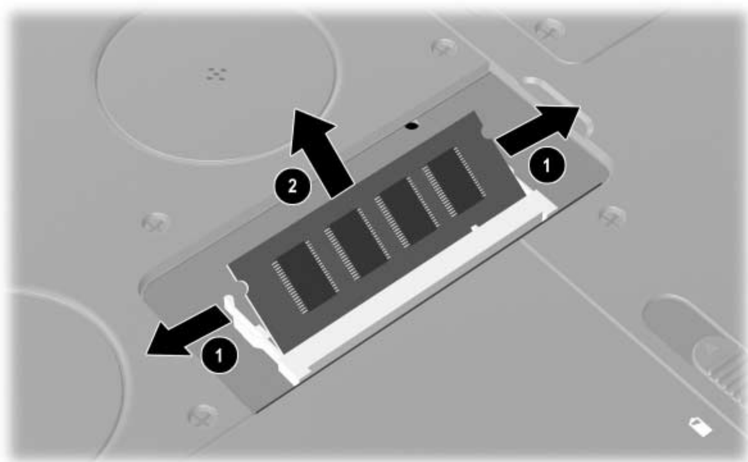
7. メモリ モジュールの着脱を行います。

   メモリ モジュールを取り外すには、以下の手順で操作します。

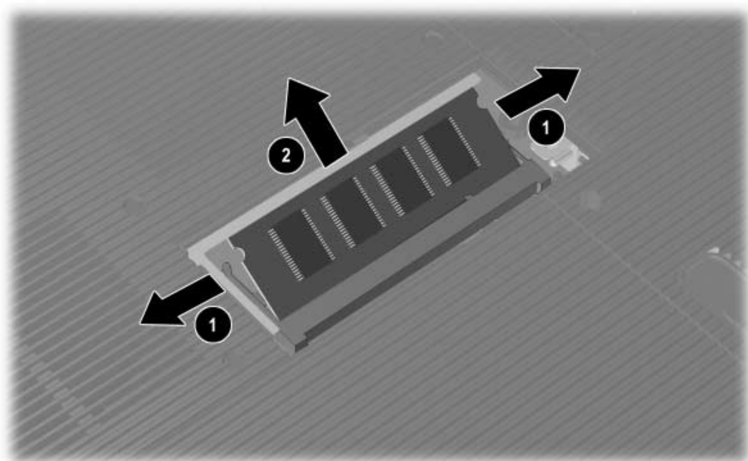
   a. メモリ モジュールの両側にあるプラスチック製の止め具を左右に引っ張ります❶。メモリ モジュールが少し上に出てきます。

   b. メモリ モジュールの両端をつかみ、そのままゆっくりと斜め上に引き抜いて取り外します❷。

   c. 取り外したメモリ モジュールは、静電気の影響を受けない容器に保管しておきます。



メモリ モジュールの取り外し



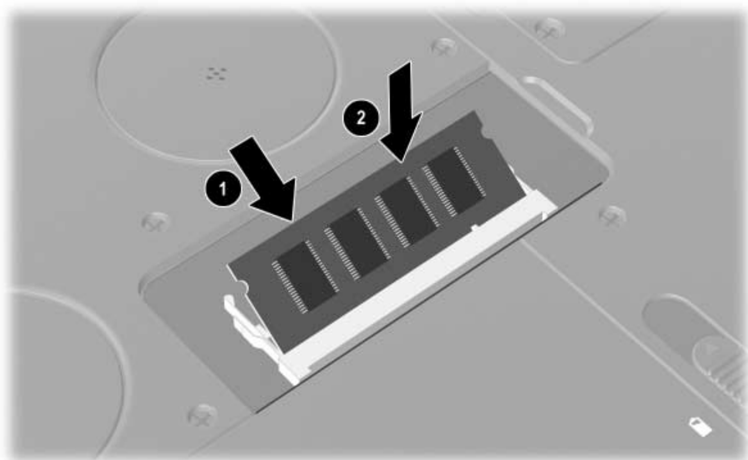
メモリ モジュールの取り外し

メモリ モジュールを取り付けるには、以下の手順で操作します。

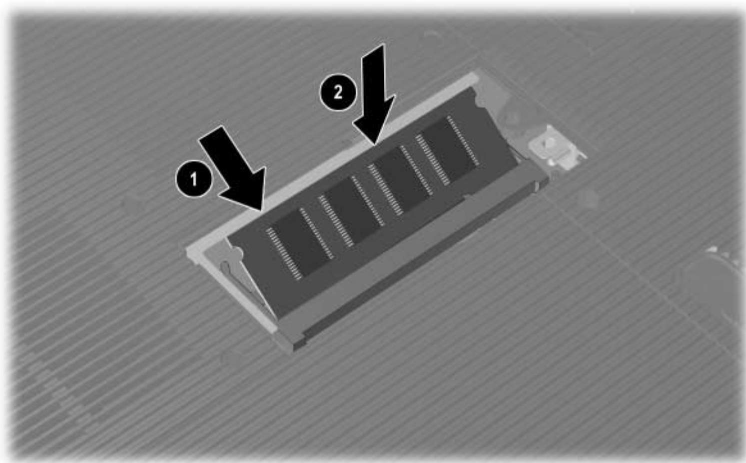
a. メモリ モジュールの切り込みとメモリ スロットの切り込みを合わせます❶。

b. スロットに収まるまで、メモリ モジュールを45°の角度で差し込みます❷。

c. カチッと音がして留め具がメモリ モジュールを固定するまで、モジュールを押し下げます。

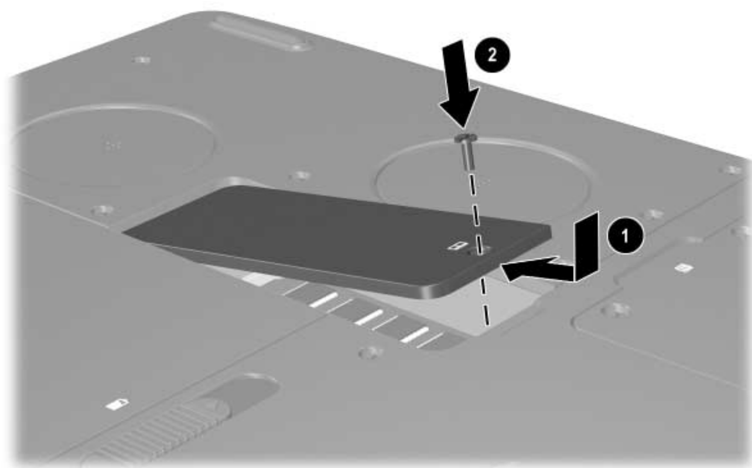


メモリ モジュールの取り付け

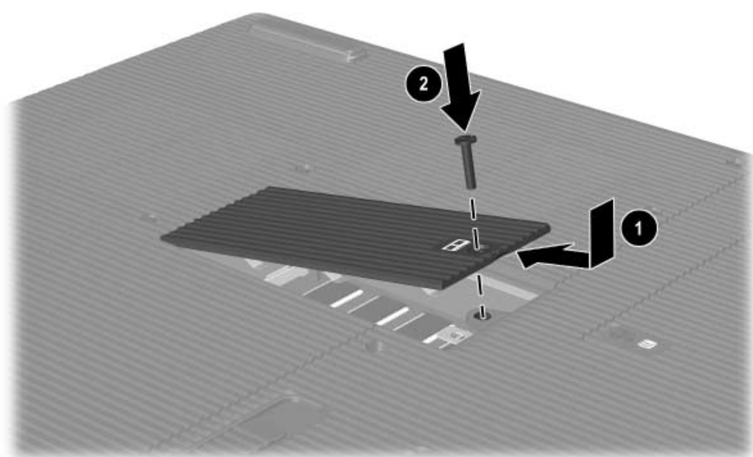


メモリ モジュールの取り付け

8. メモリ コンパートメント カバーの端を、ノートブック コンピュータ側の溝に合わせます。
9. 所定の位置に収まるまで、カバーを下に倒します❶。
10. ネジを締めてカバーをノートブック コンピュータに固定します❷。
11. バッテリ パックを元に戻し、AC電源を接続しなおして、ノートブック コンピュータを再起動します。



メモリ コンパートメント カバーを閉じる

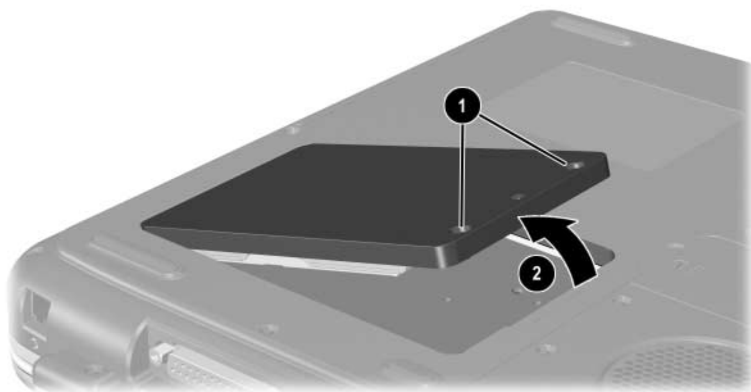


メモリ コンパートメント カバーを閉じる

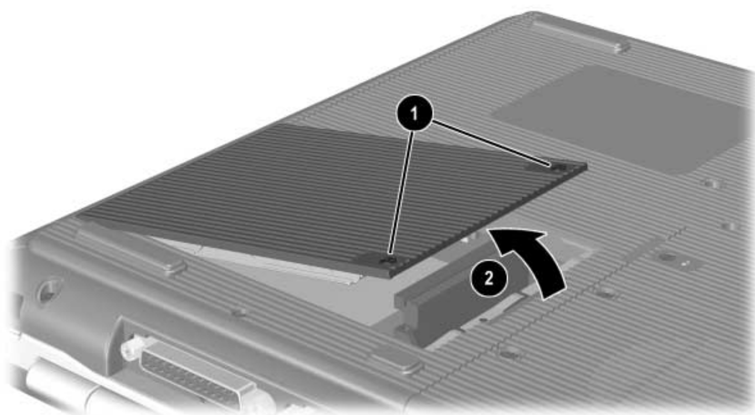
ハードドライブの交換

ハードドライブの取り外しは、交換する場合にのみ行ってください。プライマリ ハードドライブを交換するには、以下の手順で操作します。

1. 必要に応じてデータを保存して、ノートブック コンピュータの電源を切ります。お使いのコンピュータの電源が切れているかまたはハイバネーション状態かわからない場合は、電源ボタンを短く押します。作業中の情報が画面に表示されたら、データを保存し、すべてのアプリケーションを終了してからコンピュータの電源を切ります。
2. ノートブック コンピュータに接続しているすべての外付けデバイスを取り外します。
3. 電源コードを抜き、その他の外部電源から切り離します。
4. ノートブック コンピュータに装着されているバッテリ パックをすべて取り出します。
5. コンピュータを裏返します。
6. 2本のハードドライブ アセンブリ固定ネジ❶を緩め、ハードドライブを持ち上げます❷。

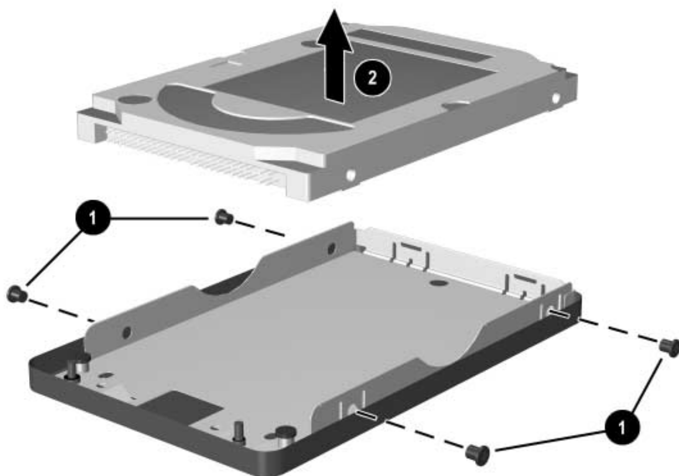


ハードドライブ アセンブリ固定ネジを緩める

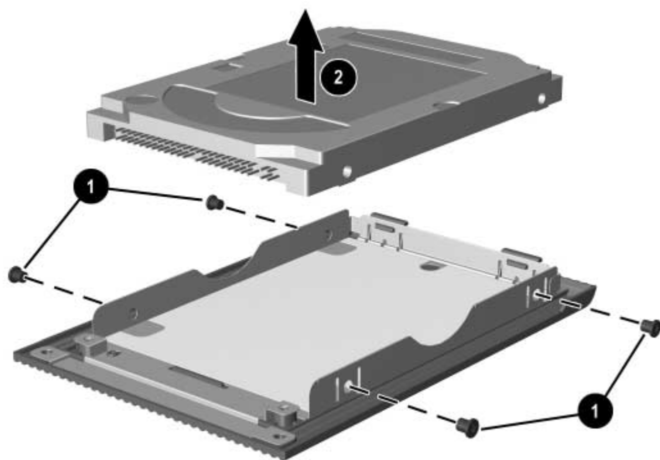


ハードドライブ アセンブリ固定ネジを緩める

7. ハードドライブ アセンブリをベイから取り出します。
8. 4本のハードドライブ ブラケット ネジ❶を取り外します。
9. ハードドライブをブラケットから取り出します❷。

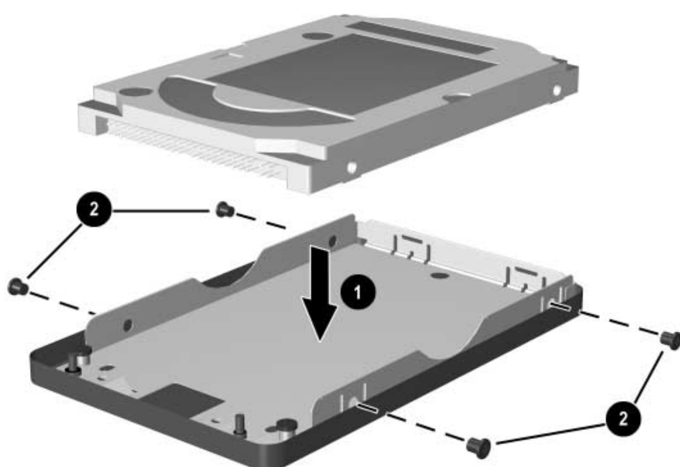


ハードドライブ ブラケットからのハードドライブの取り出し

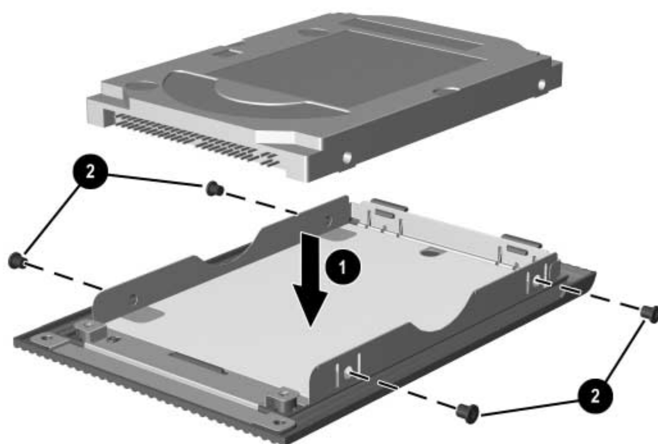


ハードドライブ ブラケットからのハードドライブの取り出し

10. 新しいハードドライブをハードドライブ ブラケットに挿入します❶。
11. 4本のハードドライブ ブラケット ネジ❷を取り付けます。

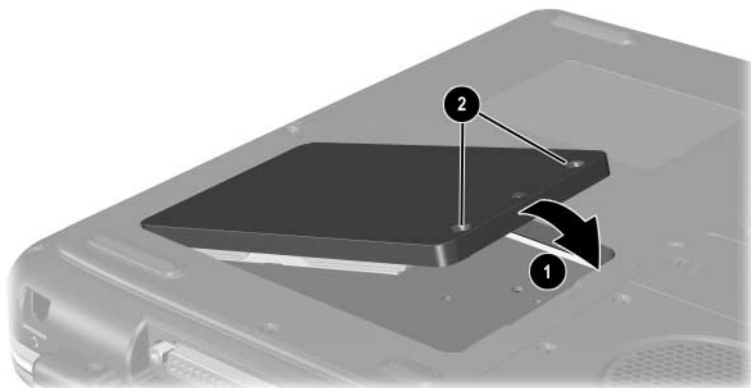


ハードドライブ ブラケットへのハードドライブの挿入

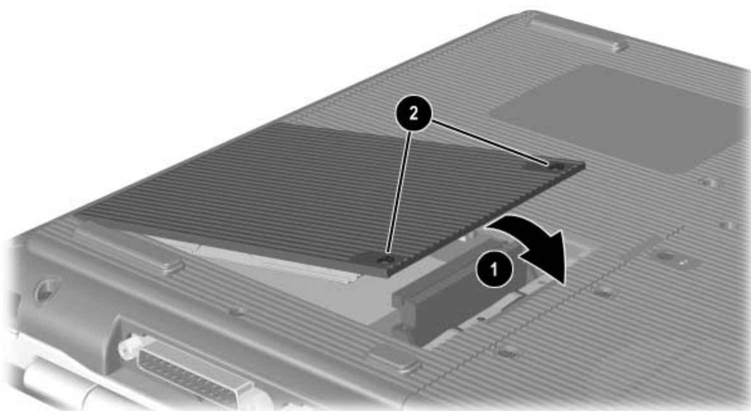


ハードドライブ ベイへのハードドライブの挿入

12. ハードドライブ アセンブリをハードドライブ ベイに再び挿入して、所定の位置に固定します❶。
13. 2本のハードドライブ固定ネジ❷を締めます。



ハードドライブ ベイへのハードドライブ アセンブリの挿入



ハードドライブ ベイへのハードドライブ アセンブリの挿入

アップグレードに関する詳細情報の参照先

別売のデバイスの着脱や操作について詳しくは、デバイスに付属のマニュアルを参照してください。

9

仕様

作業環境

動作保証温度	
動作時	0～35℃（通常） 5～35℃（オプティカル ディスク書き込み中）
非動作時	-20～60℃
相対湿度（結露しないこと）	
動作時	10～90%
非動作時	5～95%
標高（非与圧）	
動作時	-15～3,048 m
非動作時	-15～12,192 m

定格入力電源

入力電源	定格
動作電圧	100～240 VAC RMS
動作周波数範囲	50～60 Hz AC
DC電源使用時	18.5 Vdc 6.5 A

索引

S

U

W

あ

か

な

は